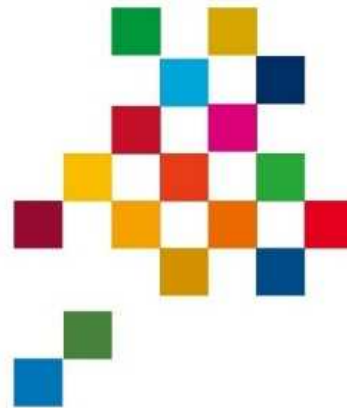


【別冊】 個別事業版



ひょうごフィールドパビリオン

Our Field, Our SDGs

私たちのフィールド、私たちのSDGs

2023年2月7日 兵庫県



1	ひょうごフィールドパビリオンの展開	P 3
2	兵庫棟(仮称)、兵庫県立美術館における魅力発信 ..	P24
3	「兵庫県版テーマウィーク」による魅力発信	P26
4	「子どもの夢」プロジェクトの実施	P60
5	機運醸成事業の実施	P62
6	推進体制の構築	P90
7	連絡窓口	P92

1 ひょうごフィールドパビリオンの展開

- ・地域の「SDGsを体現する活動の現場そのもの(フィールド)」を地域の人々が主体となって発信し、多くの人を誘い、見て、学び、体験していただく「ひょうごフィールドパビリオン」を展開する。
- ・認定したプログラムは、国内外からの誘客が可能な魅力的なプログラムになるよう、プログラム提供者やサポート人材への研修、商品化支援などの磨き上げを行い、受け入れ体制の向上に取り組んでいく。

「ひょうごフィールドパビリオン」プログラムの認定 (R5.2月に第1次認定予定)

※以降も、万博開催まで募集・認定を継続

プログラムの磨き上げ【R5年度事業費：19百万円】

(1) サポート人材の発掘

認定プログラムをサポートする人材を発掘するための説明会等を開催

(2) 人材育成研修

① プログラム提供者研修

説明力向上研修、来訪者受入研修（多言語対応・キャッシュレス対応）など「おもてなし力」の向上を図る研修を開催

② サポート人材研修

各プログラムに対応したランドオペレーター等観光関係者や通訳案内士等（サポート人材）を育成する研修を開催

(3) 商品化支援

① プロモーションプロデューサーの設置

効果的なプロモーションに向け、専門家を招聘。ターゲット設定、ターゲット別のブランディングを実施

② インバウンド対応に向けたアドバイザーの派遣

インバウンド目線による磨き上げを行うため、外国人アドバイザーを派遣

③ モニターツアーの実施

各プログラムの課題を把握し、誘客に向けた必要な取組を洗い出し、改善するためのモニターツアーを実施



伴走型の支援を行い、国内外からの誘客が可能な魅力的なプログラムに仕上げる

ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
① サポート人材の発掘	人材発掘開始 → 順次、プログラム提供者の支援		
② 人材育成研修	研修の実施		
③ 商品化支援	モニターツアーの実施	後はファムトリップで対応	

- ・「ひょうごフィールドパビリオン」を国内外に積極的にプロモーションし、万博を契機とした兵庫への誘客を促進。
- ・海外プロモーションにあたっては、友好・姉妹提携の状況や、訪日外国人客数を踏まえてターゲットを設定し、展開。

プロモーションの展開【R5年度事業費：85百万円】

(1) 海外プロモーションの展開

① 知事トップセールスの実施

知事の海外出張に併せて、現地の旅行エージェント等を対象に観光セミナー等を開催

② 旅行博への出展

海外で開催する主要な旅行博に出展し、現地のエージェント等にフィールドパビリオンの魅力をPR

③ ファムトリップ、メディアファムの実施

海外エージェントやメディアを招聘し、フィールドパビリオンを中心としたファムトリップを実施



(2) 国内プロモーションの展開

① 航空会社・船会社と連携したプロモーション

就航先でのプロモーションイベントの開催

② メディアファムトリップ

メディアを対象にファムトリップを実施するとともに、著名人・インフルエンサーを対象とするプレツアーを実施

(3) 広報素材作成・WEBサイト等による情報発信

- ・専用サイトの構築
- ・広告・SNS等を活用したプロモーションを展開
- ・広報用のプロモーション動画や販促グッズ等の作成

国内外への積極的なプロモーションを行い、ひょうごフィールドパビリオンをはじめとした兵庫への誘客を促進する

ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
① 海外プロモーションの展開	欧米豪中心	アジア中心	ファムトリップの実施
② 国内プロモーションの展開		就航先プロモーション、	ファムトリップ実施
③ 広報素材作成・情報発信	素材作成、サイト構築、順次情報発信		

ひょうごフィールドパビリオンの磨き上げ

～ふるさとひょうご寄附金を活用した機運醸成～

企画部
財務部

1. 事業概要

県内各地のひょうごフィールドパビリオンのコンテンツの磨き上げに対する支援(ふるさとひょうご寄附金)を募り、県内外からの賛同と共感を得ながら万博開催に向けた機運醸成を図る。さらに、いただいた寄附に対して、「SDGsを体現する製品」や「活動現場そのものの体験」を返礼品として提供し、寄附者自ら、見て、学び、体験していただくことにより、フィールドパビリオンのPRと兵庫ファンのさらなる獲得に繋げる。

2. 実施内容

(1) 寄附募集プロジェクト「ひょうごフィールドパビリオンの磨き上げ応援プロジェクト」【企画部所管】

① 事業内容

インバウンドの取り込みを視野に入れた県内各地のひょうごフィールドパビリオンの磨き上げの支援を行う。

② 支援対象

別途実施するモニターツアーで明らかになった課題を解決するための取組を行うコンテンツ(団体等)

(2) タイアップ返礼品の展開

フィールドパビリオンプレイヤーが提供する地場産品などの中から、提供可能な返礼品を選定

(例) 繊維・皮革・清酒などの地場産品、地場産品の製造工程見学 等

3. R5年度事業費: 4百万円

<主な内容>

① ひょうごフィールドパビリオン(SDGs体験型地域プログラム)の磨き上げ経費 2百万円

② タイアップ返礼品経費等 2百万円

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
① 寄附募集プロジェクト	寄附受付、寄附獲得に向けた広報展開、プロジェクトの実施		
② タイアップ返礼品		返礼品の内容検討→返礼品提供開始	

1. 事業概要

「防災」と「ツーリズム」を組み合わせることで、「楽しみながら防災を学ぶ」、「防災意識の向上とともに地域の魅力を堪能する」という相乗効果により、持続可能な、一過性にならない「防災意識の向上」と「地域の活性化」の両立を図る。創造的復興を次世代へ継承し、次なる災害に備えるため、安全安心で災害に強い社会づくりのための方策を提示（防災庁創設の必要性など）。

2. 実施内容

(1) モニターバスツアー

- ・令和5年度に、“プレ震災30年”、“プレ万博”として、「防災」×「ツーリズム」を新たな概念として打ち出し、企画募集型モニターバスツアーを実施
- ・ツアーコースは、人と防災未来センター、三木広域防災センター、E-ディフェンスや震災遺構等の防災関連拠点と、三木の山田錦や金物等の周辺の観光資源を活用

(2) フィールドパビリオンとしての活用

- ・モニターツアーの検証結果を踏まえ、2025年の「大阪・関西万博」においては、フィールドパビリオンとして、上記の地域資源を活用し、同年から民間事業者による商業化を目指す。
- ・東北・新潟・熊本と連携した「創造的復興知事サミット（仮称）」などへの国内外からの来場者にも、ツアーを紹介し、国内外に「防災先進県ひょうご」、「ひょうご五国」を広く発信
- ・あわせて、震災を「忘れず」「伝え」「活かし」「備える」ための「防災まち歩き」を展開し、万博と同年の震災30年の節目に向けた機運を醸成



人と防災未来センター



広域防災センター

3. R5年度事業費:10百万円

<主な内容>

- ①モニターバスツアー 3百万円 ②創造的復興の発信・推進基盤の整備 4百万円 ③防災まち歩きの推進 3百万円

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①モニターバスツアー	モニターツアーの実施、検証、ツアーコース等の改善等		
②創造的復興の発信	防災ツーリズムのコンセプト、モデルコース、参加者や語り部等の体験談、創造的復興の理念等の発信		
③防災まち歩きの推進	マップ作成・広報、1.17を中心にイベント実施、ガイド育成		防災関連NPO等の取組支援

「北摂里山地域循環共生圏」のFP展開

1. 事業概要

里山保全が盛んな兵庫県北摂地域(宝塚市、川西市、猪名川町の一部)において、脱炭素、資源循環、自然共生を総合的にアプローチする取組(ひょうご版地域循環共生圏=ローカルSDGs)の体験を通じ、【地域に賦存する資源の有効活用による地域の自立・分散】及び【地域・都市間交流による支え合う関係づくり】に向けた機運の向上を図る。

2. 実施内容

(1)開催形式：フィールドパビリオン（宝塚市西谷地区、川西市東谷地区、猪名川町中谷地区）

(2)内 容：地域のローカルSDGs情報を集約・発信し、体験型プログラム（PGM）を実施

- ・宝塚市西谷地区
県有環境林を活用したエネルギーの地産地消
- ・川西市東谷地区
台場クヌギを材料とする菊炭生産・里山保全
- ・猪名川町中谷地区
多田銀銅山跡を核とした人の交流・自然とのふれあい

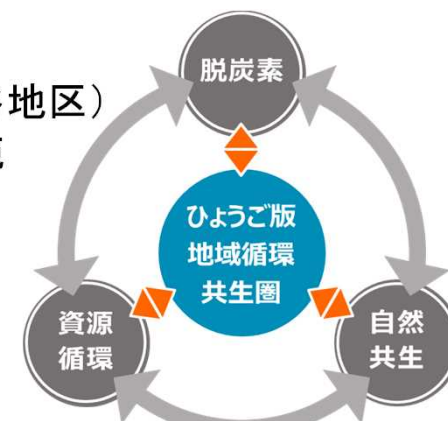


図1 ひょうご版地域循環共生圏

3. R5年度事業費:0.2百万円

<主な内容>

- ①北摂里山地域循環共生圏セミナー開催費 0.2百万円
- ②北摂里山地域循環共生圏FP実行委員会
- ③北摂里山FPまつり



図2 北摂地域循環共生圏のイメージ

4. ロードマップ

項 目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
① セミナー	北摂里山地域循環共生圏周知		
② 実行委員会	PGM内容検討 HP構築	PGM関係団体調整	開催
③ 北摂里山FPまつり	開催(R5)	開催(R6)	

1. 事業概要

広大なススキ草原と大空を翔るイヌワシ。上山高原のこうした貴重な自然を、これまでから県は地域と協働の下、「上山高原エコミュージアム」として、PRに努めてきた。この取組を、このほど但馬地域に開学した芸術文化観光専門職大学と連携を図り、よりブラッシュアップし、SDGs体験型地域プログラムのフィールドパビリオンとして構築する。

2. 実施内容

(1)内 容

- ・新たな視点から上山高原の貴重な自然(イヌワシ、ススキ等)の魅力再発見
- ・既存イベントのブラッシュアップ、モデルツアー実施
- ・広報手法やPR素材の強化

(2)実施主体

- ・芸術文化観光専門職大学地域リサーチ&イノベーションセンター(RIC)
- ・上山高原エコミュージアム運営協議会(県、新温泉町、地元NPOで構成)

3. R5年度事業費:2百万円

<主な内容>

- ①既存イベントのブラッシュアップ 0.5百万円
- ②SDGsの観点を意識したモデルツアーの実施 0.5百万円
- ③上山高原ふるさと館の展示更新・広報の強化 0.5百万円
- ④フィールドパビリオン検討会の実施 0.3百万円



上山高原(新温泉町)

4. ロードマップ

項 目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①イベントのブラッシュアップ	既存イベントへの参加、問題点・改善点の提示、プランの作成		新規イベントの提供
②モデルツアー実施	10月	4月	10月
③展示更新・広報強化	展示手法検討、更新・広報の強化		ふるさと館及びイベントでの展示・利用
④検討会の実施	開催	開催	開催

景観資源を活用した ひょうごフィールドパビリオンとの連携

まちづくり部

1. 事業概要 SDGs体験型地域プログラムの魅力をさらに向上させるため、地域の景観資源を活用した周遊ルートを作成・PRし、ひょうごフィールドパビリオンの展開を支援する。

2. 実施内容

(1) 景観資源を活用した周遊ルートの作成

- ・SDGs体験型地域プログラムを中心に、地域の景観形成地区、景観遺産、ビューポイントなどの景観資源を巡る周遊ルートを作成する
- ・景観資源と観光資源を周遊ルートで連結する

例1 播州織(西脇市)

+【景観資源】: 播州織工房館(景観遺産(予定))、
 矢筈山山頂(ビューポイント)

例2 三木金物(三木市)

+【景観資源】: 三木城下町地区(景観形成地区)、
 旧湯の山街道(ビューポイント)

例3 但馬牛(新温泉町)

+【景観資源】: 熱田集落(香美町・景観遺産(予定))、
 味原小径(ビューポイント)

例4 石の宝殿(高砂市)

+【景観資源】: 高砂地区(景観形成地区)、
 工楽松右衛門旧宅前(ビューポイント)



播州織工房館
(西脇市・景観遺産(予定))



三木城下町地区
(三木市・景観形成地区)



工楽松右衛門旧宅前
(高砂市・ビューポイント)

(2) 周遊ルートのPR

- ・観光・体験旅行企画の参考となるよう観光事業者、鉄道事業者等へPR

3. R5年度事業費 -

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
(1) 景観資源を巡る周遊ルートの作成	景観資源選定・現地調査	周遊ルート作成	万博開催期間(4~10月)
(2) 周遊ルートのPR		観光業協会等へのPR	

県立都市公園における万博及び ひょうごフィールドパビリオンとの連携

まちづくり部

1. 事業概要 兵庫県立都市公園の魅力アップと、関係団体や周辺施設と連携した企画・運営の実施及び多言語デジタルガイドの導入により万博訪問客を呼び込む

2. 実施内容

(1) 有馬富士公園

- 公園内にある新宮晋氏の作品群である「風のミュージアム」の機能を拡充するとともに、自然や芸術に触れ、楽しむことができる体験型プログラムや文化芸術イベントを実施



風のミュージアム全景 風のミュージアムで開催した「元気のぼり」

(2) 舞子公園

- 明石海峡大橋と舞子公園が連携し、景観や歴史を組み合わせた新たなツアーやイベントの企画
- 老朽化した舞子海上プロムナードのコンテンツ更新と長寿命化改修



明石海峡大橋主塔ツアー



舞子公園イベント



孫文記念館

(3) 尼崎の森中央緑地・舞子公園・淡路島公園

- スマホアプリや現地案内サインによる多言語デジタルガイドの導入
- 日本語・英語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語の4カ国語に対応し、魅力スポットやSDGsの取組みを紹介

3. R5年度事業費: 65百万円

＜主な内容＞ ① 有馬富士 30百万円 ② 舞子 30百万円 ③ 尼崎の森中央緑地・舞子・淡路島 5百万円

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
企画・立案 (1)有馬富士・(2)舞子	イベント・ツアー企画		
設計・工事・実施 (1)有馬富士・(2)舞子	設計	工事	イベント・ツアー実施
開発・工事・チラシ作成 (3)尼崎の森中央緑地・舞子・淡路島公園	アプリ開発・サイン設置	運用開始	

1. 事業概要

地域の宝である湊川隧道を、2025年大阪・関西万博を契機に実施するフィールドパビリオンとして活用することにより、保存とさらなる魅力発信を両立させる方策を推進し、次代へ引き継いでいく。

- 1901年 日本初の近代河川トンネルとして整備
- 2000年 河川トンネルとしての役割を終える
- 2002年 一般公開開始
隧道の保存・管理・運営を行い後世に伝える団体「湊川隧道保存友の会」が2001年に発足
- 2011年 土木学会選奨土木遺産
- 2019年 国登録有形文化財
- 2020年 地元企業・団体との連携協定締結

- 見学希望者は年々増加 ← → ●利活用にかかるマンパワーの不足
毎月1回・年1回(11月) イベントを実施 「湊川隧道保存友の会」の高齢化、職員の負担増
⇒ 取り組み体制の強化が必要
- 多方面での利用が進む ← → ●河川管理施設のため収益事業が困難
例 実績：映画撮影、ツアー対応、日本酒貯蔵 ●マンパワーの不足【再掲】
要望：ドラマ撮影、コスプレ撮影会、演奏会
⇒ 利用拡大に向けた新たな枠組の導入が必要

2. 実施内容

- ① 隧道内にWi-Fiなどの通信機器の整備を行い、ライブ配信で隧道を案内するオンラインツアーや万博会場とのリモートミーティングを導入
【内容】通り抜け体験、隧道の歴史・役割等を説明、チャットによる質疑応答 など
- ② 隧道保存に関わる人材（ガイド）の育成、確保
- ③ 利用ルールの再検討、持続可能な新たな枠組み（外部団体との連携、かわまちづくり支援制度）の検討・導入
- ④ 隧道を核とした周辺地域の活性化（長田、東山、新開地等）

3. R5年度事業費：2百万円

- <主な内容>
- ①, ④施設整備費 1.2百万円
 - ②, ③人材育成保存、研修費 0.4百万円

PRビデオ



日本酒貯蔵

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①オンライン導入など更なる魅力発信	隧道内の設備整備、オンラインツアー実施、さらなる魅力発信に向けた方策の検討		フィールドパビリオンの実施
②人材育成・受入体制の強化	保存に関わる人材（ガイド）の育成・見学者受け入れ体制の強化		
③新たな枠組の検討・導入	利用拡大に向けた新たな枠組みの検討・導入		
④周辺地域の活性化	周辺地域とタイアップしたイベント等の開催		

「都市山・六甲山」魅力体験プラン ～SDGsフィールド六甲山～

1. 事業概要

江戸時代に樹木の伐採が進みはげ山と化した六甲山は、明治以降、大規模な植林により緑を取り戻し、今や豊かな自然を体験することができるSDGsに則した貴重なフィールドであるとともに、観光資源としての潜在力も大きい。2025年大阪・関西万博に向け、市街地からのアクセスにも優れた「都市山・六甲山」のポテンシャルを生かしたフィールドパビリオンとして活用するため、多くの人を惹きつける六甲山の魅力を内外に広く発信し、自然と観光を組み合わせた体験型イベント等を開催する。

2. 実施内容

(1) 六甲山魅力体験イベントの開催

① 六甲山フォトロゲイニング

- ・六甲山上施設等のチェックポイントで写真撮影
- ・制限時間内にチェックポイントの得点を集め合計得点を競う

② 六甲山みどころツアー

六甲山の発展とともに歩んできた茶屋や歴史的建造物を巡り、現地で茶屋の主人等の関係者から話を聞くなど六甲山の魅力を体験

(2) 効果

六甲山への愛着心の醸成、興味・関心の向上及び賑わい創出

3. R5年度事業費：2百万円

(1) 六甲山フォトロゲイニング：1百万円

(2) 六甲山みどころツアー：1百万円

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
・六甲山魅力体験イベントの開催	六甲山魅力体験イベントの開催 ・六甲山フォトロゲイニング・六甲山みどころツアー 等		
・フィールドパビリオンの実施			フィールドパビリオンの実施



フォトロゲイニング



国登録有形文化財
「旧摩耶観光ホテル」

茶屋

1. 事業概要

大阪・関西万博の開催に向けて、阪神南地域の特徴・資源を活かしつつ、内外から人を呼び込み、様々な交流や賑わいの創出に向けた取組に対する支援を行うことにより、民間団体によるフィールドパビリオン造成やシンクロイベントの実施につなげる。

2. 実施内容

大阪・関西万博に向けた交流促進支援(フィールドパビリオン等造成支援)

※ 阪神南ふるさとづくり応援事業を拡充し、万博枠を創設

【事業例】

マリンスポーツによる地域振興イベント、地域周遊型の現代美術イベント、尼崎運河の水辺空間の魅力発信、インバウンド誘客を図る体験型・周遊滞在型プログラムの実施

(1)補助金額

上限30万円(補助率:定額)

(2)審査方式

審査会による書類及びヒアリング

3. R5年度事業費:2百万円

補助金 2百万円(0.3百万×7件)



4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
募集・審査	募集 審査会	募集 審査会	
賑わいづくり支援	随時	随時	フィールドパビリオン、シンクロイベントの展開

1. 事業概要

古くから水運に利用されてきた尼崎運河は、尼崎臨海部の貴重な財産であり、尼崎21世紀の森構想が掲げる「森と人と水が共生する」まちづくりを推進するため、地域や市民との協働により運河を核としたその魅力を発信する。

2. 実施内容

尼崎運河活性化に携わる方々(※)と意見交換を図りながら、以下の項目を検討実施していく。

※NPO尼崎21世紀の森、徳島大学(水質浄化に係る研究)、周辺企業、学校、尼崎市等

(1) 魅力ある水辺空間の創出

・蓬川公園沿いにSUP(スタンドアップパドルボート)拠点の整備、フィールドパビリオンとしての運河クルーズの本格実施。

尼崎の森中央緑地第三工区での民間活力による賑わい施設の整備

(2) 21世紀の森の取組成果の発信と環境学習の新たな展開

・脚光を浴びつつある臨海部のPRのためこれまで20年にわたる21世紀の森の取組成果を分かりやすく発信するとともに、ベイエリア(県外含む)からの環境学習への参加者拡大を図る

(3) 水質浄化施設・チャンネルベースの機能強化

・新たな魚礁の設置等による研究機能の強化、係留機能の強化、バリアフリー化等による交流機能の強化、耐久性の向上



尼崎運河でのSUP活動

3. R5年度事業費：14百万円

- ① 尼崎運河クルーズ社会実験イベント(仮称) 1百万円
- ② 環境学習フェスティバル(仮称) 1百万円
- ③ 水質浄化施設の機能向上、耐久性向上に向けた調査設計 12百万円

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
魅力ある水辺空間の創出	尼崎運河クルーズ社会実験 SUP拠点整備検討、第三工区 賑わい創出に関する民間公募	尼崎運河クルーズ本格実施 に向けた対策の実施 SUP拠点整備、第三工区民間活力による賑わい創出	尼崎運河クルーズの本格実 施
水質浄化施設等の機能 強化、環境学習の推進	水質浄化施設機能強化等調査 設計、環境フェスティバル実施	水質浄化施設の機能強化及び環境学習の新たな取り組み	

阪神北地域におけるフィールドパビリオンと連動した地域の魅力向上

1. 事業概要

ひょうごフィールドパビリオンの理念と軌を一にする「阪神アグリパーク構想」や「北摂里山博物館構想」の関連事業を展開するとともに、阪神北地域のひょうごフィールドパビリオンの造成を支援し、連動して広報PRや誘客促進を図り、持続可能な取組となるよう事業を推進していく。

2. 実施内容

(1) 阪神アグリパーク構想の推進

都市・都市近郊農業の振興と地域の魅力向上を図るため、農業者や食関連事業者等との連携の下、都市と農村が共存する阪神地域の特色を活かした多彩な「農」と食に関わる活動拠点をアトラクションとし、地域全体をテーマパークに見立てた“阪神アグリパーク構想”を推進

(2) 北摂里山博物館構想の推進

里山・天然記念物の保安全管理や環境学習の支援などを担っている地域団体等と連携しながら、北摂里山の持続的な保全を図り、北摂地域の活性化につなげるため、“北摂里山博物館構想”を推進



①活動拠点を巡るスタンプラリー

②枝豆のさやもぎ体験の実施

③「こども北摂里山探検隊」の実施

④炭焼き体験ツアーの開催

3. R5年度事業費：6百万

- ① 「メイド in 阪神」発信プロジェクト 1百万円
- ② 「阪神産」黒大豆枝豆のブランド化と食育を通じた需要拡大 1百万円
- ③ 里山資源を活用した環境学習・環境創生 3百万円
- ④ 菊炭 炭焼き体験ツアーの開催 1百万円

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)			2024年度(R6)		2025年度(R7)
阪神アグリパーク構想	事業実施	事業の効果検証	万博を見据えた事業展開	ブラッシュアップ		フィールドパビリオン連動事業による誘客促進
北摂里山博物館構想	事業実施		万博を見据えた事業展開	ブラッシュアップ	フィールドパビリオン造成支援	フィールドパビリオンPR・誘客促進

※ 東播磨県民局では、『いなみ野ため池ミュージアム』を2002年から展開しています。

1. 事業概要

いなみ野ため池ミュージアムでは、地域の財産であるため池や疏水を“守り、活かし、次世代へ継承する”ため、農業者だけでなく地域住民が参画するため池協議会が中心となり、公民学で連携し水辺の地域づくりを展開している。

大阪・関西万博に合わせ、東播磨を象徴する“ため池のある水辺空間”をフィールドパビリオンとして多くの来訪者が見て、学び、体験できる、国際ため池巡りロゲイング大会など各種イベントを実施するための整備を公民学で連携して行う。

2. 実施内容

(1) 多言語サインの設置

海外からの来訪者に、ため池の保全や管理など、日々の営みを通じて、ため池の文化や価値に理解や共感を得るため多言語サインを設置する。

(2) ため池フォトスポットの設置

県内最大の加古大池など、特色ある施設や景観を案内し、来訪者に地域内の周遊を促すため、デザイン検討の協力が得られるスポンサー企業を募りランドマークを設置する。

3. R5年度事業費： 2百万円

<主な内容>

- ① 多言語サインの製作・設置 0.7百万円
- ② ため池フォトスポットの設置 1百万円



4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
(1) 多言語サインの製作・設置		サイン製作・設置	
(2) ため池フォトスポットの設置	サイン・フォトスポットの検討	スポットの作成・設置	
		国際ロゲイング大会 (プレイベント)	国際ロゲイング大会 (参加型イベント)など開催

1. 事業概要

大阪・関西万博を契機に、地域内外の人々にフィールドパビリオンとしての北播磨地域の魅力を知ってもらい、訪れてもらうため、新たな地域資源の発掘及びイベントの開催や情報発信などの取組に対して支援を行う。

2. 実施内容

大阪・関西万博を契機とした北播磨の魅力創出・発信

※北播磨地域づくり活動応援事業を拡充し、万博関連枠を創設

- ・ 補助金額：上限30万円(補助率：定額)
- ・ 補助対象者：地域団体、学生(高校生、大学生)グループ等
- ・ 審査方式：審査会による書類及びヒアリング



播州織

3. R5年度事業費:2百万円

補助金 30万円×6件

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
募集・審査	募集 審査会	募集 審査会	
賑わいづくり支援	随時	随時	フィールドパビリオンの展開

先人の知恵と工夫で農・生活を支える「東条川疏水」 の情報発信

北播磨
県民局

1. 事業概要

東条川疏水は鴨川ダムと昭和池を水源とし、加東市から小野市、三木市にわたる約3千ヘクタールの農地に張り巡らされた広大な水路網で、古くから地域の農業や生活を支えてきた現役の地域遺産である。東条川疏水ネットワーク博物館では、水の恵みや関連する人々の営みを学び、これを通じて人々がつながる新しい地域づくりをめざしている。大阪・関西万博を人々を呼び込む絶好の機会と捉え、疏水でつながる農や食を含めた体験型プログラムをフィールドパビリオンとして提供し、地域内外の認知度向上や疏水に関連する活動の持続的な発展を図る。

2. 実施内容

- ・地域内外の人に東条川疏水を知ってもらうため、東条川疏水ネットワーク博物館会議を中心にフィールドパビリオンとして体験型プログラムを実施
- ・東条川疏水に関する情報・知見を総合的に発信する東条川疏水ネットワークWEB博物館を開設
- ・地域内の小学校が取り組む疏水学習(教室内授業、施設見学)を支援
- ・疏水に関する様々な活動を展開する地域団体等の活動を支援



鴨川ダム

3. R5年度事業費:7百万円

<主な内容>

- | | |
|-----------------------|--------|
| ①東条川疏水ネットワークWEB博物館の企画 | 1百万円 |
| ②疏水学習への支援 | 6百万円 |
| ③地域団体等への活動支援 | 0.5百万円 |

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①WEB博物館	調査・分析・企画	コンテンツ制作・開設	コンテンツの充実化・リアル窓口の設置
②疏水学習支援	疏水学習の教材開発、施設見学交通費等助成		
③地域団体等活動支援	活動費助成		

1. 事業概要

- ・新型コロナ等の影響により、魚価の低迷、来訪者の減少が進み、水産業及び漁村地域の衰退が懸念
- ・大阪・関西万博のフィールドパビリオンとしての取組を視野に魅力を発信し、地域のファンづくりを推進

2. 実施内容

- (1) 実施主体：漁業協同組合、漁業者グループ
- (2) 内 容：①漁業見学船等による観光ツアー
- ・海上での漁船操業状況の見学
 - ・家島諸島クルージング
 - ・坊勢島等における散策、食事体験等
- ②直販施設等における水産物・漁村地域のPR
- ・姫路市内の漁協直販施設における情報発信等
- (3) 対象者：一般



3. R5年度事業費：7百万円

<主な内容>

- ①漁業見学船等による観光ツアー
- ②直販施設等における水産物・漁村地域のPR



4. ロードマップ

項 目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①漁業見学船等による観光ツアー		体験ツアー等の試行(新たな取組の研究、実施手法の確立)	FPとして本格実施
②直販施設等における水産物や漁村地域のPR		上記期間におけるバックアップ実施等	

食と農で結ぶ「夢前ゆめ街道づくり」の推進

1. 事業概要

- ・夢前ゆめ街道(県道67号沿線)では、豊かな自然や農業・観光施設等を活かし地域の魅力向上や情報を発信している。
- ・今後とも「兵庫DC」や「大阪・関西万博のフィールドパビリオン」を視野に、食と農を核とした取組を実施し、関係人口の拡大を図る。



2. 実施内容

(1)実施主体：夢前ゆめ街道づくり実行委員会

(2)内 容：①農業等地域資源を活かした交流推進

- ・スカイランタンイベントの実施や菜の花畑の文字描画
- ・観光農業、農産物等加工体験など、体験メニューの開発

②夢前テロワールの開発・普及飲食店や宿泊施設で

- ・地域資源の発掘と商品開発
- ・夢前テロワールが堪能できる料理メニュー開発等



3. R5年度事業費:0.8百万円

- <主な内容> ①農業等地域資源を活かした交流推進
②夢前テロワールの開発・普及

4. ロードマップ

項 目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①地域資源を活かした交流推進		交流イベントや体験メニューの開発とブラッシュアップ	
②夢前テロワールの開発・普及		夢前テロワールグルメの開発・PR	FPとして本格実施

1. 事業概要

地域が主体的に体験型コンテンツ等を創り上げる支援を行いつつ、日本遺産を始めとした但馬の多彩な観光資源等の活用を促すとともに、旅行者ニーズの多様化に対応する土壌を育み、発展させることで新たな観光ニーズの掘り起こしを行う。

2. 実施内容

(1) 地域特性を活かした取り組み支援

既存の観光資源の新たな活用のための企画づくりや環境整備、二次交通の充実など、地域特性を活かしたコンテンツの磨き上げに関する取り組みを支援する。

(2) 但馬のツーリズム情報発信事業

ア 観光コンテンツ・観光スポットの広報充実事業

兵庫DCの効果の継続を図るとともに、ひょうごFPなどを意識した新たな観光コンテンツの国内外への効果的な広報・情報発信事業を展開

イ 「銀の馬車道・鉱石の道」を活かした歴史トリップストーリー

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」と姫路城、城崎温泉などの関連施設等と連携させたストーリー形成を図るため、魅力的なテーマの掘り起こしにより、姫路市から豊岡市までの全県縦断ルートを構築し、今後の誘客促進及び情報発信に活用

3. R5年度事業費：8百万円

①地域特性を活かした取り組み支援 5百万円

②但馬のツーリズム情報発信 3百万円

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
	兵庫DC	アフターDC	
①地域特性を活かした取り組み支援	既存コンテンツの磨き上げ		ひょうご FP開催
②但馬のツーリズム情報発信	多様な観光コンテンツ・スポットの情報発信		
ア 広報充実事業	歴史リサーチ、記事作成・掲載	ツアープラン作成・実施	
イ 歴史トリップストーリー			

「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録に向けた情報発信

1. 事業概要

貴重な遺産である鳴門の渦潮を守り後世に伝えていくため、平成26年度から世界遺産に向けた取り組みを行っており、これまでの学術調査の結果や渦潮の「顕著な普遍的価値」、渦潮を通じた地球温暖化など人類共通の環境問題等について、SDGsの観点から国内外へ情報発信を行い、今後の世界遺産登録に向けた機運の向上を図る。

2. 実施内容

(1) 開催形式：国際シンポジウム（南あわじ市内、ほか兵庫津ミュージアムなど）
（ひょうごフィールドパビリオンとして開催予定）

(2) 内 容：・ユネスコ関係者等による講演
・自然・文化学術調査の成果の発表（鳴門の渦潮の特性、海外類似資産との比較研究結果、渦潮と人の関わり等）
・保護保全と観光との両立に取り組む世界遺産登録地の関係者による事例発表
・世界遺産登録に向けた方向性の提示
・現地ツアー（鳴門の渦潮の観潮、鳴門の渦潮と関わりが深い施設や地域の環境保全活動等の取組）

(3) 対 象 者：ユネスコ、海外類似資産（ノルウェー・スコットランド）関係者、環境省、文化庁等



3. R5年度事業費：13百万円

<主な内容>

①学術調査費 13百万円

4. ロードマップ

項 目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①学術調査	調査の継続(海外連携調査、新たなアプローチ研究、地質・景観調査)	成果とりまとめ	
②国際シンポジウム		国内外招聘者調整・開催に向けた調整	開催 (FP)

2 兵庫棟(仮称)、兵庫県立美術館 における魅力発信

・万博会場の兵庫棟（仮称）と県内拠点である兵庫県立美術館において、**ひょうごフィールドパビリオンや県内企業の最先端技術など、兵庫の多彩な魅力を展示を通じて発信。**

・また、会場内でのトークセッションやイベントの展開など、効果的な誘客施策をあわせて検討。

兵庫棟(仮称)・兵庫県立美術館における魅力発信【R5年度事業費：55百万円】

<R5事業費：①展示設計費：24百万円、②展示制作費：31百万円/R6債務負担行為：展示制作費351百万円>

兵庫棟 (仮称)

関西パビリオン内（面積：約160㎡）

- ・**最新映像機器等を活用した全天周の圧倒的な映像**で臨場感を演出し、「兵庫に行ってみたい」と来場者に強く印象づけるような展示

- ・フィールドパビリオンプログラム提供者等とのトークセッションなども検討



関西パビリオン（イメージ）

[提供：関西広域連合]

兵庫県立 美術館

兵庫県立美術館内 3Fギャラリー
（面積：約620㎡）

- ・**子どもをはじめとした来場者参加型の展示**や、兵庫の地域資源を「見て、触って楽しめる」実物展示など、兵庫棟とは異なる視点で兵庫の魅力を発信

- ・ミュージアムホールやアトリエ等を活用したイベントなども検討



県立美術館

※R5.3月に展示基本計画を策定、公表予定

ひょうごフィールドパビリオンをはじめ、歴史・文化・食など、兵庫が有する多彩な魅力を発信し、兵庫への誘客につなげる

ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
①展示設計	展示設計		
②展示制作		展示制作	運営

3 「兵庫県版テーマウィーク」の設定 による魅力発信

3 「兵庫県版テーマウィーク」の設定による魅力発信

・万博開催期間中、国際博覧会協会が実施するテーマウィークプロジェクトに連動し、**兵庫県が独自のテーマウィークを設定**し、県や企業、フィールドパビリオンプログラム提供者が万博会場や兵庫県立美術館等において、**テーマに応じたPR事業を展開**。

・併せて、市町や地域単位の情報発信などを集中的に行うイベントである**リージョナルデー「市町の日」を展開**し、県内各地の魅力を発信。

「兵庫県版テーマウィーク」の設定による魅力発信

※R5年度は企画検討のみ（予算計上なし）
個別事業分は含まない

- 開催期間** 2025.4.13～10.13（万博期間）
- テーマ数** 国際博覧会協会のテーマウィークに連動し10テーマ程度
- 開催場所** 万博会場（兵庫棟）、兵庫県立美術館、県内各地



(1) テーマウィーク設定による発信

- ① 国内外との交流・シンクロイベント
国際交流行事や万博関連行事・誘客イベント
 - ② 未来のショーケース事業
未来社会を実感できる最先端技術を特徴とする関連事業
 - ③ 兵庫がハブとなる取組
共通課題への解決策や連携できる魅力を持つ複数府県を兵庫が中心となって行う取組
- ✓ **テーマは、国際博覧会協会が設定する公式テーマを踏まえて設定予定（R5年春以降を予定）**
- ✓ **企画内容、企業等の参画方法等については今後調整予定**

(2) リージョナルデー（市町の日等）による発信

市町や地域単位の情報発信等を集中的に実施

＜事業例＞

- ・ 姉妹都市との交流イベント
- ・ 地元企業の技術発表、特産品の展示
- ・ 観光誘客イベント 等

✓ **市町の参画内容、参画方法等については今後調整予定**

ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
① イベント開催	企画立案	本開催に向けた準備	本開催
② 情報発信		機運醸成のための誌面連載、SNSでの発信	本開催の誌面連載、SNSでの発信

3① 国内外との交流・シンクロイベント

Cool Tradition Showcase in 兵庫津ミュージアム (仮称)

企画部

1. 事業概要

博物館の非日常空間を活かし、兵庫五国の魅力を発信するショーケースイベント等を実施し、次代を担う若者・ファミリー層や観光客・ビジネス層など新ターゲットに訴求

2. 実施内容

(1) 兵庫の歴史・文化・産業に根ざした舞台芸術や体験イベントの実施

- ① 兵庫ゆかりアーティストによる舞台芸術
- ② 万博コンテンツ等の体験イベント
[フィールドパビリオン採択コンテンツの出張実演 等]
- ③ 若者による五国プロモーション
[県内大学生による五国の魅力SNSプロモーション 等]



【兵庫津ミュージアム外観】

(2) 国内外からの観光・MICE利用の促進

- ① 観光誘客 [学校教育・修学旅行や観光周遊用のミュージアム活用プログラムの開発 等]
- ② MICE活用 [周遊パッケージプランの開発、自治体や企業研修用のミュージアム活用プログラムの開発 等]
- ③ 国際交流・ブランディング [海外の著名な類似博物館との交流・姉妹協定 等]



【ひょうごはじまり館エントランス】

3. R5年度事業費：10百万円

＜主な内容＞

- ① ショーケース事業 (舞台芸術や体験イベント) 5百万円
- ② PRツール作成・活用 5百万円

4. ロードマップ

項目	2022年度	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
舞台芸術・体験イベント	人材・ネタ発掘	→ 出演・内容調整	→ (順次)開催	→
観光誘客・MICE活用		活用プログラム等の開発	→ 試作版による運用・バージョンアップ	→ 完成版による運用
国際交流		姉妹博物館候補の選定	→ 候補博物館との交流事業	→ 姉妹協定の締結

1. 事業目的

全国最多9つを有する日本遺産をはじめ、世界遺産・姫路城、世界遺産を目指す鳴門海峡の渦潮など県内の多彩な地域遺産について、環境保全、文化・伝統の継承、普及啓発・教育の取組など、SDGsの観点から、今後の地域での活用状況、地域振興のあり方を考えるシンポジウム、国内外からの来訪客を現地案内し魅力を体験させるツアーを実施。

地域自らが地域遺産の魅力をあらためて再確認し、活性化に取り組む契機とするとともに、国内外への情報発信、兵庫への誘客を促進。

2. 実施方法

(1) 日本遺産シンポジウムの開催（2024年度：プレ開催、2025年度：本開催）

(2) 現地体験ツアーの開催

[例]

- ①国生み神話の伝承と金属器文化・海人の航海技術等との関わり（淡路）
- ②近代日本の産業発展を支えた銀の馬車道・鉱石の道の歴史
・鍛冶技術（中播磨・但馬）
- ③北前船による近代国内航路形成の歴史や松右衛門帆などの技術（各地域）
- ④姫路城、播磨の山城を通じた中世・近世期の築城技術・地域の発展（各地域）
- ⑤灘・伊丹の酒、六古窯、赤穂塩など、伝統・地場産業の足跡・技術（各地域）
- ⑥デカンショ節、阿万の風流踊など、多様な祭礼・伝統芸能の継承（各地域）等



(3) その他関連イベント

「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録推進国際シンポジウム関連イベント（兵庫津ミュージアム）等

3. R5年度事業費：-

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
日本遺産シンポジウム	企画調整	プレ開催	企画調整
現地体験ツアー等		企画調整	実施

1 事業概要

大阪・関西万博に向け、兵庫が持つ高い芸術・文化の魅力を活かし、発信力を高めていくことで、内外からのより多くの人々にその魅力に触れてもらうとともに、アートを核とした地域連携や人材交流を促進する。

2 実施内容

(1) ひょうごプレミアム芸術デーの開催(7月実施)

県立芸術文化施設の無料開放や特別イベントに加え、賛同を得られた市町立施設等にも実施の輪を広げる。普段、芸術を鑑賞する機会が少ない方や、障がいのある方、子ども連れの方など誰もが気軽に芸術文化に触れられる機会を提供する。

(2) ポータルサイト構築等

本県の多彩な芸術文化コンテンツをトータルで情報発信する多言語対応の総合ポータルサイトを開設する。また、海外からの誘客を促進するため、既存の県立芸術文化施設関連HPの多言語化を実施する。

(3) 地域と連携した芸術文化の発信(丹波立杭陶磁器協同組合と兵庫陶芸美術館が協働で実施)

兵庫陶芸美術館が、丹波焼の普及・振興に取り組む陶磁器組合や丹波篠山市とタイアップしながら丹波焼の里の魅力伝える事業を実施する。ツアー造成に向けたファムトリップやガイド養成等を行う(陶磁器組合がひょうごフィールドパビリオンを展開予定)。

- ① 新たな広報の展開(オンライン広告による丹波焼の里や陶芸美術館「特別展」の広報)
- ② ファムトリップを契機とした誘客促進
- ③ 丹波焼の里 ガイドの養成

3 R5年度事業費:20百万円

<主な内容>

- ①ひょうごプレミアム芸術デーの開催 8百万円
- ②ポータルサイト構築等 10百万円
- ③丹波焼の里 魅力発信 2百万円



丹波焼の里 窯元路地歩きガイドの様子

4 ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
(1) ひょうごプレミアム芸術デー	無料開放施設の拡大、特別イベントの充実、障がい者、子ども連れ等の幅広い鑑賞機会の提供		万博シンクロイベントとして展開
(2) ポータルサイト構築等	サイト構築、HP多言語化	コンテンツの追加・拡充、フィールドパビリオンとの連携	
(3) 丹波焼の里 魅力発信	地域との連携、広報の充実、ガイド養成		フィールドパビリオンの開催

1. 事業概要

阪神・淡路大震災の「創造的復興」の理念を、改めて国内外で共有化、次世代へ継承し、次なる災害に備えるため、10月上旬を創造的復興ウィークと位置付けて、安全安心で災害に強い社会づくりに資するための知事サミットの開催や関連行事の実施について検討する。

2. 実施内容

(1) 創造的復興知事サミット（仮称）

- ・ 内 容：
 - ・ 全国の主な被災地（宮城、岩手、福島、熊本、新潟、兵庫）の知事が集い、各地の取り組みを発信する会議（サミット）の開催を検討する。
 - ・ 同じく被災地の高校生などによる活動紹介や意見交換会を検討する。
- ・ 開催時期：2025年10月（1日）
- ・ 開催場所：神戸市内

(2) 国際会議等関連行事の開催

- ・ 内 容：創造的復興をテーマとした国際会議やイベントの開催を検討する。
- ・ 開催時期：2025年10月（1日 or 2日間）
- ・ 開催場所：神戸市内



人と防災未来センター



H28熊本地震

3. R5年度事業費：－

4. ロードマップ

項 目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①創造的復興知事サミット（仮称）	事業内容検討（出演者等）	事業実施準備（出演者調整等）	広報等 開催（10月）
②国際会議等関連行事の開催			

みんなで広げよう「健口の輪」

保健医療部

～歯と食からはじめる健康革命プロジェクト～

1. 事業概要

- (1) 2050年兵庫ビジョン「安心して長生きできる社会」の先導として、各専門団体、関連企業、行政等がタッグを組み子どもから大人まで、生涯切れ目のない「健口」づくりを実践すると健康寿命の延伸にもつながることを啓発する。
- (2) 万博開催中、「兵庫の旨いもん」を楽しみながら、誰もが気になる健康の秘訣を探り、「食べることは生きること」の観点から、世界の長寿国日本がこれから目指す健康のカタチを見て・聞いて、1人1人の健康意識を高める。
- (3) 参加者が自身の歯と口に関心を持ち、口腔ケアを日々持続できるよう歯と口腔の健康啓発イベントを実施する。

2. 実施内容

- (1) 開催形式：「人生100年時代を生き抜くための健口 & 栄養戦略(仮題)」をテーマとした講演会やパネル展示等
- (2) 内容：食と健康に関わる著名人による基調講演や健康寿命の延伸に向けた歯科医療と食育に関する講演等
パネル展示（例：ミライのシカイ;20年後の歯科イノベーションロードマップ等）や映像上映等を予定
協賛企業による健康食品や口腔ケアグッズのブース展示と販売等
- (3) 対象者：県民及び関西万博の参加者

3. R5年度事業費：－



4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①大会準備委員会発足		イベントサポート企業、協賛企業募集、 大会準備委員会の開催	
②大会準備		実施会場選定	招聘者調整 開催

1. 事業目的

海外において、ワシントン州姉妹提携60周年記念事業や豪州との連携事業を活用したトップセールスや海外事務所の広報・プロモーション活動等により、フィールドパビリオンのPR及び誘客促進を図る。

国内では、草の根国際交流等を促進することで、海外からの誘客促進に向けた機運醸成と交流活動の強化を推進する。

万博期間中には、友好州省訪問団のフィールドパビリオンへの誘客を図るとともに、国際フロンティア産業メッセ「国際ゾーン」を設置し、海外事務所が調整する外国企業等との海外ビジネスマッチング等を展開する。

2. 実施方法

(1) 姉妹提携60周年記念事業の実施 (2023(R5)年 秋)

ワシントン州姉妹提携60周年記念事業に代表団を派遣し、トップセールスで、州政府及び市町の友好都市に対し、フィールドパビリオンのPRを実施。また、フィールドパビリオンへの誘客促進を図るため、カリフォルニア州で観光セミナーを併せて開催

(2) 豪州との連携促進の実施 (2023(R5)年 秋)

豪州に代表団を派遣し、水関連企業等との意見交換のほか、友好提携先である西豪州において、カーボンニュートラル実現に向けた協議等を実施。また、フィールドパビリオンへの誘客促進を図るため、シドニー、メルボルンで観光セミナーを併せて開催

(3) 海外事務所における広報・プロモーション (2023(R5)年～2025(R7)年)

旅行博等を通じた誘客促進や海外ビジネスマッチング創出に向けて、海外事務所における広報・プロモーション活動を強化

[LA旅行博(米国)、NY Japan Showcase(米国)、マルセイユ秋祭り(フランス)、IFTM TOPRESA(フランス)、ブックフェア(香港)等]

(4) 草の根国際交流等の促進 (2023(R5)年～2025(R7)年)

草の根国際交流(スポーツ、文化、青少年等)や、東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン交流フォローアップ、二国間交流を誘客につなげるため、連絡会議等を通じて関係市町・団体における交流事業の活性化を促進

(5) 友好州省訪問団の受入と2025国際フロンティア産業メッセ「国際ゾーン」の展開 (2025(R7)年)

友好州省訪問団のフィールドパビリオン体験を支援するほか、2025 国際フロンティア産業メッセにて「国際ゾーン」を設置し、万博出展海外企業および海外事務所経由の海外企業とのビジネスマッチングや友好州省のPR展示を展開

<メッセ国際ゾーンのイメージ>
 ○友好州省PRブース
 ○万博出展企業ブース
 ○海外事務所経由の外国企業ブース
 ○友好州省交流促進セミナー

3. R5年度事業費:17百万円((1)7百万円 (2)10百万円 ※(3)・(4)・(5)は既定経費対応)

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
(1) 姉妹提携60周年記念事業の実施	企画立案	訪問団派遣 セミナー	
(2) 豪州との連携促進の実施			
(3) 海外事務所における広報・プロモーション	海外事務所が各種イベント等で実施		
(4) 草の根交流等の促進を通じたPR	関係市町・団体との連携強化		
● 友好姉妹州省からの訪問団受入 (ひょうごフィールドパビリオンへの誘客)			訪問団受入
● 国際フロンティアメッセ国際ゾーンでの海外 ビジネスマッチングと友好州省PR展示			メッセ国際ゾーンでの 海外ビジネスマッ チング等

万博に向けた国際フロンティア産業メッセの開催 (ビジネスマッチング機会の提供)

産業労働部

1. 事業概要

企業や大学・研究機関による先端技術の紹介や新事業創出の基盤となる製品展示を中心に、基調講演、特別講演、各種セミナーや交流会など多彩なプログラムを展開し、技術交流・ビジネスマッチングを進める機会を提供する。万博開催に向けて増加する海外からのビジネス客も取り込むことで、企業のさらなる国際展開を目指す。



2. 実施内容

2023年からの3年間、万博開催の機運を盛り上げるため、「持続可能な未来社会の構築(SDGs)」という共通コンセプトのもと、万博に向けた特別テーマを設定し、段階的に盛り上げていく。

年度	共通コンセプト	万博に向けた特別テーマのイメージ
2023	持続可能な未来社会の構築 (SDGs)	ロボット、健康・医療、航空・宇宙、次世代エネルギー(脱炭素・水素、蓄電池等)
2024		次世代技術・産業(各分野の最先端技術)
2025		

<ポイント>

- 万博で注目される最先端技術のPR
- 「万博」関連テーマの講演・セミナー開催
- 万博年は会期を拡大(2日→3日)
- 県内高校・大学生の参加を促進
(コロナ前1,500人→2025年目標2,500人)

3. R5年度事業費 8百万円(※国際フロンティア産業メッセ実行委員会への分担金)

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
① イベント開催	9.7~9.8(木・金)		
	企画・調整 2023開催	企画・調整 2024開催	企画・調整 2025開催
② テーマ	ロボット、健康・医療、航空・宇宙、次世代エネルギー		次世代技術・産業
	 空飛ぶクルマ tetra Mk-5 (テトラ・アビエーション)	 手術支援ロボット ヒノリ (メディカロイド)	 液化水素運搬船 すいそふるんていあ (川崎重工)
	 共通テーマ:SDGs	 万博イメージ	
③ 目標	来場者数 15,000人	20,000人	30,000人
	ビジネスマッチング 3,000件	4,000件	6,000件

県立淡路景観園芸学校における 国際交流事業の展開

まちづくり部

1. 事業概要

- ・国際セミナー及びシンポジウムを開催し万博が目指すSDGs達成のための先導的な取り組み事例等を発信し、万博への参画意欲の高揚と万博テーマの推進に寄与する

2. 実施内容

- ・これまで実施した「ランドスケープからの地域経営」に関するセミナーを踏まえ、住み続けられるまちづくりのSDGsに関連するテーマでセミナーを実施(オンライン・対面でR5・R6 3回/年)
- ・R7年は、シンポジウムを開催(セミナーの中からテーマを厳選予定)
シンポジウムは淡路夢舞台国際会議場を想定
- ・参加者定員: 100名程度/回
- ・参加費: 無料
- ・セミナー等の広報媒体(チラシ・ポスター)に大阪・関西万博のロゴを掲載し
周知活動

3. R5年度事業費: 1百万円<主な内容> 国際セミナー開催費 1百万円

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
企画・立案	企画		
周知・実施		セミナー開催(対面・オンライン)	シンポジウム開催(対面・オンライン)



シンポジウムイメージ



SDG'sに関連する活動事例
(「シロチドリの保護活動から海浜環境
保全を考える」取り組み)

1. 事業目的および実施方法

国内外から多く来場者が見込まれる2025大阪・関西万博を契機とし、兵庫の魅力発信や活性化のため、社会教育施設において、各種事業を展開する。

2. 実施内容

(1)「HYOGOミュージアム魅力発信プロジェクト」の展開

- ・県立社会教育施設の広報展開や集客力アップに向けて、企画検討委員会を設置し企画・展開するプロジェクト。
- ・大学生によるヒョーゴ・ミュージアム・サポーターズを募集し、広報展開や集客力アップに、若者の斬新で新しいアイデアを取り入れる。

(2)各社会教育施設での展開

- ・R7年度開催展覧会の企画・開催
- ・万博開催時の来館者(外国人を含む)を見据えた対応の検討・準備
- ・万博開催に向けた機運醸成イベントの企画・開催及び万博期間中の誘客施策の検討・実施
- ・ヒョーゴ・ミュージアム・サポーターズとの協働
- ・瀬戸内国際芸術祭で他美術館とコラボ企画を検討・調整

3. R5年度事業費：1百万円

<主な内容>

- ・「HYOGOミュージアム魅力発信プロジェクト」の運営 1百万円

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
ミュージアム魅力発信プロジェクト	企画検討委員会設置、サポーターズ募集・選考 → 展開(企画会議、ミーティング(随時)、企画提案・実施、等)		
各施設展覧会等の企画・開催	企画立案・準備		本開催

1. 事業概要

マリンスポーツに適した環境や活動拠点がある阪神臨海部の特性を活かし、官民協働で地域が一体となり、競技団体等の交流や大会開催時の賑わい支援、新たな大会誘致等に取り組むことにより、マリンスポーツのメッカとしての知名度をエリア全体で向上させ、観光資源化を図る。

2. 実施内容

(1) SNS動画投稿・フォトコンテストの開催

- ・全ての競技を通じた動画投稿・フォトコンテストの開催
- ・イベント会場におけるSNSフォトコンテスト優秀作品の展示会の開催

(2) 大会開催時の賑わい支援

大会開催時のイベント開催・賑わいづくり支援

(3) 大会誘致プロモーション活動の展開

大規模大会やプロスポーツ大会の誘致、固定開催地化

3. R5年度事業費: 1百万円

- ① SNSフォトコンテスト開催経費 1百万円
 - ② 関係者会議の運営 0.2百万円(随時)
- ※ イベント・賑わいづくり支援は「阪神南ふるさとづくり応援事業(万博枠: 30万円/件)」を活用



4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
SNS動画投稿・フォトコンテスト	コンテスト開催・展示会	コンテスト開催・展示会	大規模大会、万博シンクロイベントの開催
大会開催時賑わい支援	大会開催時のイベント開催・賑わいづくり支援(随時)		
大会誘致プロモーション活動	関係者会議開催(随時)	プロモーション活動の展開	

万博会場外駐車場(尼崎地区)を活用した にぎわいづくり

企画部
阪神南県民センター

1. 事業概要

万博期間中、1日最大1万人近い人が利用する会場外駐車場を、パークアンドライドの乗り換えだけで終わらせずに、フィールドパビリオンへの誘導や地域の魅力発信など、にぎわいづくりの場にするため、会場外駐車場隣接地を有効活用する。

2. 実施内容

- (1) 実施場所: 尼崎フェニックス事業用地(敷地面積 約9.7ha)の隣接地
- (2) 実施主体: 県、尼崎市、観光協会など
- (3) 内 容: ・物産展(本庁)
 - ・県内のフィールドパビリオンなど観光施設の案内(本庁)
 - ・尼崎市の観光案内、特産物の販売等(尼崎市)
 - ・ものづくり産業、次世代環境技術のPR など
- (4) 対 象 者: 万博来場者、万博関係者等

3. R5年度事業費: ー



4. ロードマップ

項 目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
内容検討・計画策定	計画検討(展示・出展内容の検討、関係団体との調整、プレイベントの実施)	計画決定	
展示・イベント開催		出展・出演者調整	開催

北播磨「農」と「食」の祭典の開催

1. 事業概要

北播磨の特産農畜産物や農産加工品の魅力を広く発信するため、市町、農協、生産者等あらゆるチャンネルによる魅力発信の取組を支援するとともに、北播磨農畜産物や加工品等を一堂に集めた販売・展示イベントを開催し、消費拡大と生産振興、地域活性化に繋げる。さらには大阪・関西万博と連携し、国内外に北播磨の「農」と「食」の魅力を発信する。

2. 実施内容

- (1) 県民局、6市町、2農協を構成員とする北播磨「農」と「食」の祭典実行委員会による北播磨農畜産物や加工品等を一堂に集めた販売・展示イベントの開催
- (2) 市町や農協、生産者団体等が開催する地域農畜産物PRイベントへの支援



R4 北播磨「農」と「食」の祭典

3. R5年度事業費：8百万円

<主な内容>

- ①北播磨「農」と「食」の祭典の開催 4百万円
- ②市町、農協等が開催するPRイベントへの支援 4百万円

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①北播磨「農」と「食」の祭典の開催	開催準備 イベント開催	開催準備 イベント開催	開催準備 イベント開催
②市町、農協等が開催するPRイベントへの支援	市町、農協等が開催するPRイベントへの支援		

1. 事業概要

令和2年度、「初心者から競技者まで対応した誰もが楽しめるサイクルスポーツの拠点整備」をテーマにリノベーション計画を策定し、現在、既存園路の改修による全長7.2kmのサイクリングコースの整備を行っている。

令和5年春の完成後は、大阪・関西万博も見据えながら地域内外の人の利用を促進していく。

2. 実施内容

都市公園では全国最大規模のサイクリングコースを生かして、アマチュア選手による大会からプロ選手が参加する全国規模の大会まで様々なサイクルロードレースを誘致する。

令和7年度大阪・関西万博の期間中には、全日本実業団自転車競技連盟（JBCF）等が実施するロードレース大会に合わせて、サイクリングイベント（シンクロイベント）を開催する。

3. R5年度事業費：0.3百万円

大会誘致のPR、学生大会のコース使用料補助

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
大会誘致のPR、 学生大会のコース使用料 補助	供用 開始	大会誘致・実施	サイクリングイベント

1. 事業概要

- ・2025年の大阪・関西万博がめざす「SDGs達成への貢献」を見据え、持続可能な森林環境の実現に向けた新たなアイデア・取り組みについて、国際交流を通じて共有・議論する機会とする。
- ・過去30年にわたって交流を続けてきた「ウィーンの森」関係者をはじめ、世界の森づくり関係者を招聘し、次世代の森の保全・活用について知見を交換・共有する。

1993.11.4～11.5 **森林文化国際会議** 主催：丹波の森協会、丹波総合開発推進協議会、丹波10町 開催地：丹波篠山市

海外参加者：ウィーンの森、シュバルツバルト、バイエルンの森、フォンテーヌブローの森

2001.11.5～11.9 **丹波の森・国際井戸端会議** 主催：丹波の森・21世紀記念事業推進委員会 海外参加者：同上 開催地：両市各所

2. 実施内容

- ・世界の森づくりシンポジウムの開催：丹波、ウィーン等世界の森づくり専門家がこれまでの成果と課題を報告するとともに、デジタル技術等を生かした次世代社会の森づくりや森の暮らしを展望
- ・丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの開催：ウィーン等海外から演奏家を招聘し、ホールでのコンサートのほか農村、里山等を舞台に野外音楽祭を開催

・ユースビジネスプラン・プログラムの実施

ウィーン等海外の若手起業志望者が丹波に滞在し、就業体験等をもとに地域資源を生かしたビジネスプランを作成・発表

<実施体制> 実行委員会形式



3. R5年度事業費 1百万円

- <主な内容> ①国際会議準備会議開催費0.3百万
②シューベルティアードたんば1百万

4. ロードマップ

項目	2023年度		2024年度	2025年度
国際シンポジウム 国際音楽祭 ビジネスプラン・プログラム	企画立案	参加者募集	開催調整	イベント実施

1. 事業概要

淡路島のため池数は約1万カ所！ ため池は、モンスーン気候で水稲作の盛んな国・地域（インド、中国、タイ、台湾、スリランカ等）において雨期の水を営農に活かすために数多く存在し、食料生産だけではなく生態系保全、生活用水源、資源循環などSDGsの観点からも重要な地域資源となっている。

兵庫県淡路島は世界有数のため池密集地域であり、ため池文化の伝承に加え、早くからため池の新たな視点として「豊かな海を再生するかいぼり」、「総合治水」、「水上太陽光発電」などの利活用を進めている。このたびの万博を機にこれらの取組を国内外に発信するとともに、「いのち輝くため池の未来デザイン」について文化的・技術的交流を深める。

2. 実施内容

- ① 国内外交流イベントの開催 万博来場者も参加可能な交流体験イベントとして、真夏のかいぼり体験会、コウノトリの餌場づくり、野鳥・水生生物観察会、ため池ウォーキング等を開催
- ② ため池シンポジウムの開催 ため池に精通した学識経験者を国内外から招聘してシンポジウムを開催し、ため池の未来デザインを討論
- ③ 未来のため池保全の実証 衛星観測、ドローンなど先端技術導入によるため池のスマート管理を検討



3. R5年度事業費：7百万円

<主な内容>

R5は意識醸成期間として既存の取組（かいぼり、ため池教室等）において万博ロゴマークを掲示することに加え、遠隔監視機器を展示モデル的に設置

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
① イベント開催	既存事業での意識醸成	企画・実行委員会設置	イベント開催
② シンポジウム開催			シンポ開催
③ 先端技術導入	先端技術導入の検討・実証		

1. 事業概要

令和7年度に開催される大阪・関西万博に合わせ、ひょうごフィールドパビリオンが全県で展開される。淡路島においては、島全体をフィールドパビリオンとして位置付け、地域の幅広い取り組みを「AWAJI島博(仮称)」として展開し、情報発信を行い、島内へのさらなる誘客を促進する。

- ① テーマ いのち輝く島AWAJI(キャッチフレーズ)
- ② 開催期間 令和7年4月13日～10月13日(大阪・関西万博と同期)
- ③ 内容
 - ・ 淡路島の魅力的な自然、歴史・文化、食、産業、温泉、イベントなどの多彩なコンテンツを集約してストーリー化し、万博に併せて効果的に発信
 - ・ 統一ロゴを作成し、参画する多彩なコンテンツ・ストーリーをトータルで発信
 - ・ 「ひょうごフィールドパビリオン」と連携し、コンテンツの磨き上げを推進

2. 実施内容

- (1) 実行委員会の立ち上げ
- (2) 島博のシンボルとなる統一ロゴの作成
- (3) 情報発信

3. R5年度事業費: 1百万円

<主な内容>

- (1) 実行委員会設立、(2) 統一ロゴの作成、(3) 情報発信
(総事業費3百万円。県、淡路島内3市、民間団体等で負担)

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
(1) 実行委員会設立	実行委員会の設立・開催	実行委員会の開催	AWAJI島博(仮称)の開催
(2) 統一ロゴの作成	統一ロゴの作成	参画コンテンツの決定・ストーリーの作成	
(3) 情報発信	ホームページ(HP)の開設	HPの更新、旅行会社へのプロモーション、ガイドブック等の作成	

「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録に向けた情報発信

1. 事業概要

【再掲】

貴重な遺産である鳴門の渦潮を守り後世に伝えていくため、平成26年度から世界遺産に向けた取り組みを行っており、これまでの学術調査の結果や渦潮の「顕著な普遍的価値」、渦潮を通じた地球温暖化など人類共通の環境問題等について、SDGsの観点から国内外へ情報発信を行い、今後の世界遺産登録に向けた機運の向上を図る。

2. 実施内容

(1) 開催形式：国際シンポジウム（南あわじ市内、ほか兵庫津ミュージアムなど）
（ひょうごフィールドパビリオンとして開催予定）

(2) 内 容：
・ユネスコ関係者等による講演
・自然・文化学術調査の成果の発表（鳴門の渦潮の特性、海外類似資産との比較研究結果、渦潮と人の関わり等）
・保護保全と観光との両立に取り組む世界遺産登録地の関係者による事例発表
・世界遺産登録に向けた方向性の提示
・現地ツアー（鳴門の渦潮の観潮、鳴門の渦潮と関わりが深い施設や地域の環境保全活動等の取組）

(3) 対 象 者：ユネスコ、海外類似資産（ノルウェー・スコットランド）関係者、環境省、文化庁等



3. R5年度事業費：13百万円

<主な内容>

①学術調査費 13百万円

4. ロードマップ

項 目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①学術調査	調査の継続(海外連携調査、新たなアプローチ研究、地質・景観調査)	成果とりまとめ	
②国際シンポジウム		国内外招聘者調整・開催に向けた調整	開催 (FP)

3② 未来のショーケース事業

1. 事業概要

水素エネルギーはカーボンニュートラル社会実現のキーテクノロジーと目されるも、技術面、コスト面のハードルが高く実装に伴う課題が多く存在する。このため新分野の開拓を後押しするべく社会受容性の向上に資する水素エネルギーの認知度向上につながるシンボリックな取組を推進する。



出典：岩谷産業(株)

2. 実施内容（兵庫・大阪連携）

(1) 社会受容性の向上

- ・ ベイエリア内での水素旅客船の就航を企画する海外スタートアップが、SDGsチャレンジ事業の中間デモデイ、市民公開型デモデイにて、企業、市民に対してPRを行い水素船の認知度を向上

(2) 事業化の推進

- ・ 万博会場周辺での運用を視野に大阪湾ベイエリアへの水素旅客船の導入を検討する新規参入企業に向けて県民センターとも連携し、旅客船係留場所を県内に確保するなど運行に向けた支援を実施
- ・ 金融機関も交えた情報収集とSDGsチャレンジ事業を通じた事業立上げ支援、関係企業とのマッチング



出典：アルマテック社

岩谷産業(株)	大阪・関西万博での水素燃料電池船による海上輸送を目指して開発を実施
Almatech SA	ゼロ・エミッション海上輸送イノベーションにより県内の造船関連・水素関連企業の新市場創出を目指す

3. R5年度事業費：一

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
社会受容性の向上	SDGsチャレンジ		
事業化の推進	メンタリング ネットワークング		
	係留場所調査	係留場所確保等支援	運航

次世代モビリティ（空飛ぶクルマ）の運行

企画部
産業労働部
土木部

1. 事業概要

空の移動革命をもたらす新たなモビリティとして、空飛ぶクルマへの関心が高まっている。本県は、県内の多様なフィールドを活かしてドローンの社会実装で先駆的な取組を進めてきた。その知見を生かし、空飛ぶクルマにおいても、2025年大阪・関西万博を契機に社会実装を全国に先駆けて進めるべく、事業者との連携のもと、取組を進める。



(出典)空の移動革命社会実装に向けた大阪版ロードマップアクションプラン(一部加工)

2. 実施内容（兵庫・大阪連携）

(1) 社会受容性の向上

- ・「次世代空モビリティひょうご会議(仮称)」を設置し、空飛ぶクルマの多様な利用シーンや兵庫の魅力向上への活用策を明確化

(2) ポート整備支援

- ・離着陸場WGの情報を収集しつつ、多様な利用シーンに応じたポート候補地を整理
- ・候補地を抽出し、運営事業者を探索。用地や各種規制の調整、支援制度の創設等により開設を推進

(3) 事業開発支援

- ・有力な機体メーカーとの連携協定締結など、事業者の県内進出の布石を作る
- ・県内の多様なフィールドを活用した実証事業を通じて事業開発を支援
- ・開発・製造、MRO※、人材育成等の拠点づくりや、県内事業者の参入支援を通じて、航空産業のエコシステムを形成



▲空飛ぶクルマイメージ(出典)経済産業省

※MRO: Maintenance, Repair, Overhaul の略語で航空機の整備や修理に関わる事業の呼称

3. R5年度事業費: 87百万円

<主な内容> (1)1百万円 (2)離着陸場の検討9百万円 (3)実証事業経費40百万円

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
社会受容性の向上	空飛ぶクルマ研究室による情報発信	次世代空モビリティひょうご会議の運営	
ポート整備支援	ポート候補地の整理	整備すべきポート候補地の抽出、運営事業者の探索 ポート開設推進	
事業開発支援	連携協定締結等による事業者の県内進出促進	実証事業を通じた事業開発支援 開発・製造、MRO、育成等の拠点形成への取組	

試験飛行

自動運転による来訪者移動支援

1. 事業概要

万博開催中に会場等から淡路交流の翼港に航路で来訪した人をホテルグランドニッコー淡路や夢舞台、国営明石海峡公園などへ誘導するため、自動運転車両によるレベル4（L4）運行を目指す。

2. 実施内容

淡路夢舞台等における、自動運転車両（L4）運行。

(1) 運行車両

グリーンスローモビリティ

(2) 運行ルート

右図参照

(3) 対象者

万博会場等から北淡路地域へ来訪される観光客等

3. R5年度事業費：60百万円

<主な内容>

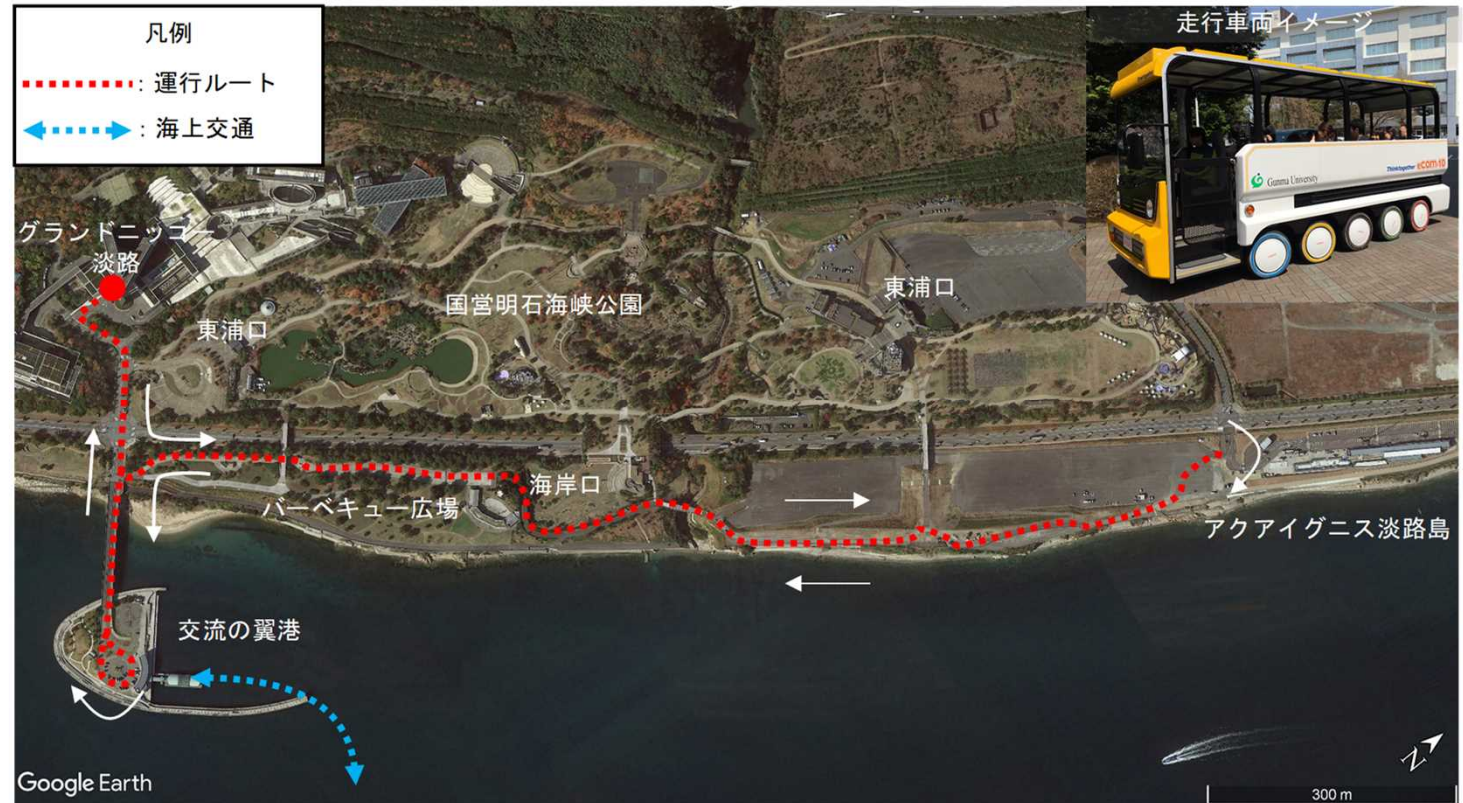
①ODD検証・システム構築：40百万円

②実証実験：20百万円

※ODD:運行設計領域（設計上各自動運転システムが作動する前提となる走行環境条件）のこと。走行する路線毎に設定する必要がある。

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①L3実証実験	ODD検証等 実証実験		
②L4実証実験		ODD認可等 実証実験	
③L4実装			L4実装



1. 事業概要

県立病院及び関係団体で実践・研究されている先端医療技術や特色ある取組について、実施体験を交えて広くPRし、未来の医療を実感できる万博とする。

2. 実施内容

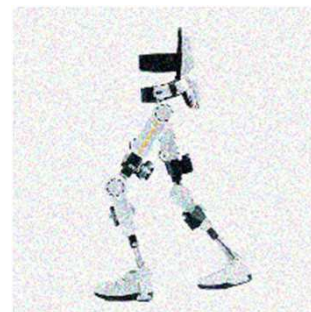
選定した先端医療技術・特色ある取組テーマの展示・開設や、実施体験コーナー(講座)の設置、シンポジウム、動画製作等を行う。

◇県立リハビリテーション中央病院(スポーツ医学診療センター)における取組を例として

- ・ロボットやVRを活用した先端リハビリテーション機器や説明パネルの展示・解説、動画上映
- ・リハビリテーション機器の装着・訓練体験の実施
- ・医師や訓練士、技術開発者に加え、リハビリを経験した(パラ)アスリート等ゲストによるシンポジウムの開催
- ・県立病院で提供する医療・リハビリを紹介する動画の製作・配信 など

3. R5年度事業費: -

取組テーマの選定と並行し、今後詳細を検討



4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①テーマ選定・費用試算	検討・試算		
②企画立案・開催		企画立案・出席者調整	啓発物製作 開催

臨海部での次世代モビリティ走行

企画部、産業労働部、
環境部、土木部、
阪神南県民センター

1. 事業概要

民間事業者が開発している水素船がR5年度末に完成し、尼ロックが荒天時の避難場所として予定されることや民間事業者が物流トラックの自動運転実証実験を尼崎21世紀の森で計画していることなど踏まえ、尼崎臨海部を次世代モビリティの実証実験の場であることを全国に発信する。また、今後増加が予想されるFCTトラック・バスにも対応した水素ステーションの誘致を目指し、次世代モビリティが走行する環境先進地域としての尼崎臨海部をPRする。

2. 実施内容

- (1) 実施形式: 公民連携(県、尼崎市、民間事業者等)
- (2) 内容:
 - ・水素船の運航実証実験、不定期便の運航
 - ・物流トラックの自動運転実証実験
 - ・空飛ぶクルマのポート開設支援
 - ・FCTトラック・バス対応の水素ステーションの誘致



3. R5年度事業費: -

- ①水素船・物流トラックの実証実験 -
- ②水素ステーションの誘致 -
- ③脱炭素への取組 -

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
実証実験・不定期便	物流トラック実証実験	水素船実証実験	水素船不定期便
水素ステーション誘致	誘致に向けた関係者との協議・調整		
脱炭素への取組	物流施設等関係者との協議・省エネ、再エネによる余剰電力の活用		

1. 事業概要

温室効果ガスの産業排出の多い臨海部の工場地帯において、企業による脱炭素化の取組を推進し、環境と産業が共生する新たなベイエリアの発展をめざすとともに、万博会場外駐車場施設等において、地域の脱炭素化推進企業の取組を発信する。

2. 実施内容

- (1) 「森と人と水が共生する」まちづくりに地域一体で推進してきた「尼崎21世紀の森構想」の取組成果の発信と環境学習の拡充
- (2) 企業の省エネ・再エネ化に向けた設備導入支援
- (3) 脱炭素推進企業の取組をPRするため、オープンファクトリーの展開支援
- (4) 脱炭素先行地域の尼崎臨海部への展開
- (5) 物流倉庫の集積に伴う路上駐車等の課題を地域で連携して解決する取組の推進
- (6) 会場外駐車場施設等において、尼崎市など地域の脱炭素化推進企業の取組を発信



3. R5年度事業費：－

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
環境学習の推進 省エネ・再エネの取組を支援 オープンファクトリー展開支援 脱炭素先進企業と電力需要企業の連携した取組 路上駐車等の課題解決 推進企業の取組発信	取組成果の発信、環境学習の実施	取組成果の発信、環境学習の実施	取組成果の発信、環境学習の実施
	取組支援の実施		取組の発信

1. 事業概要

大阪・関西万博に向けて、経済団体等と連携し、3カ年(R5~7年度)で、ひょうご中はりまブランドの周知に努め、万博に向けた機運醸成を図る。

2. 実施内容

① 海外での中はりま食文化PR

はりまの酒、乾麺、姫路の菓子、水産練製品等、中播磨の食について、フランス等海外でPRすることで、中播磨の食文化を紹介し、中播磨地域への関心を高め、万博への誘客促進につなげる。

② 新技術等の実用化に向けた中はりま公民連携

社会課題の解決に向け、自動運転、ドローン、燃料電池などの新技術等の実証実験や調査等を公民連携で実施し、万博会場等での展示につなげる。

③ 中はりま産業SDGs PR

JCフェスタにおいて、中播磨の企業が行うSDGsへの取組等をPRするとともに、万博の広報を行い、万博に向けた機運醸成を図る。



3. R5年度事業費:6百万円

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①海外での中はりま食文化PR		中播磨の食文化展示・紹介	
②新技術等の実用化に向けた中はりま公民連携		実証実験・調査、成果発表	
③中はりま産業SDGs PR	JCフェスタでのPR		

スマートコミュニティの推進（シリ丹バレー）

1. 事業概要

- ・シリ丹バレー構想のスマートコミュニティ・プロジェクトでは、日々進化する新たなデジタル技術を導入し、人口減少化においても暮らしやすい、持続可能な地域集落運営の実現に向けた研究を実施
- ・モデル地区・集落を、多自然地域におけるスマート技術導入の可能性を広く発信するショールームに位置づけ、スマート技術に関心の高い国内外のビジターが集い、交わる拠点とする

（※モデル候補地区：丹波篠山市東部六地区、丹波市青垣地区 等）

2. 実施内容

- ・大阪・関西万博本会場で広く発信し、モ・モデル地区・集落での新しいデジタル技術導入に向けた成果や課題を共有し、地域課題の解決に向けた知識や情報を発信する。
- ・研修・視察の受け入れだけでなく、一般向けのコト体験ツアーの企画・実施にもあたる。
- ・大阪・関西万博本会場で広く発信し、モデル地区・集落においてもオンサイト実験を試みる。

<テーマ例>

- ・地域運営：電子市民（関係人口）が参画する仮想コミュニティ（メタバース等）の形成
- ・移動支援：自家用有償旅客運送のスマート化
- ・共有経済：地域デジタル通貨、ポイントの発行、Local Maasの開発
→ 上記テーマなどを包含するデータ連携基盤の整備を検討

<実施体制>

シリ丹バレー スマートコミュニティ研究会（丹波県民局、丹波篠山市、丹波市、有識者、民間企業、地域団体等）

3. R5年度事業費 0.6百万円

<主要内容> 研究会の開催費用

4. ロードマップ



項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
スマート技術の導入 テーマ例：地域運営・移動支援・共有経済など	スマート技術の実証実験 システム構築	デジタルサービスの 運用開始	データ連携サービスの運用開始
データ連携基盤	データ連携基盤構築にかかる 要件整理	データ連携基盤の構築	

1. 事業概要

淡路島では、2011年からあわじ環境未来島構想の下、「エネルギーの持続」「農と食の持続」「暮らしの持続」に取り組んできた。万博に向け、これまでの脱炭素・SDGsの取組みに磨きをかけるとともに、企業の新たな取組を促し、体感できるプロジェクトを進める。

2. 実施内容

(1)あわじ環境未来島体験ツアーの開催

(2)現地視察ツアーのパッケージ化の検討:エネルギー(メガソーラー、ため池ソーラー、風力発電、バイオマス)
農と食(スマート農業、6次産業化施設)
暮らし(小規模集落、里山保全や海洋保全の取組み)

(3)NIRO(新産業創造研究機構)と協働で、地域再エネ(地産地消)に関するコンソーシアムを推進。
(取組分野(例):観光施設の100%再エネ化、災害に備えたエネルギー自給自足実証、再エネ利用のモビリティ)
淡路島での実証実験や事業を促進するとともに、(1)(2)を用いてPRする。

3. R5年度事業費:1百万円

<主な内容>

- ①あわじ環境未来島体験ツアーの開催 1百万円
- ②現地視察ツアーのパッケージ化の検討 一万円
- ③ NIRO(新産業創造研究機構)と協働で、地域再エネ(地産地消)に関するコンソーシアムを推進 一万円

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①体験ツアー	毎年度(3回程度)開催・視察の受入れ		
②パッケージ化検討	アンケートによる検証	視察先のパッケージ化検討	ツアーとして打ち出し
②コンソーシアム	立ち上げ	各分野で、実証や事業化を検討	

↑内容を盛り込む

3③ 兵庫がハブとなる取組み

【再掲】

1. 事業概要

阪神・淡路大震災の「創造的復興」の理念を、改めて国内外で共有化、次世代へ継承し、次なる災害に備えるため、10月上旬を創造的復興ウィークと位置付けて、安全安心で災害に強い社会づくりに資するための知事サミットの開催や関連行事の実施について検討する。

2. 実施内容

(1) 創造的復興サミット(仮称)

- ・内 容：・全国の主な被災地（宮城、岩手、福島、熊本、新潟、兵庫）の知事が集い、各地の取り組みを発信する会議（サミット）の開催を検討する。
 - ・同じく被災地の高校生などによる活動紹介や意見交換会を検討する。
- ・開催時期：2025年10月（1日）
- ・開催場所：神戸市内



人と防災未来センター

(2) 国際会議等関連行事の開催

- ・内 容：創造的復興をテーマとした国際会議やイベントの開催を検討する。
- ・開催時期：2025年10月（1日 or 2日間）
- ・開催場所：神戸市内



H28熊本地震

3. R5年度事業費：－

4. ロードマップ

項 目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①創造的復興サミット (仮称)	事業内容検討(出演者等)	事業実施準備(出演者調整等)	広報等 開催(10月)
②国際会議等関連行事の開催			

【再掲】

1. 事業目的および実施方法

国内外から多く来場者が見込まれる2025大阪・関西万博を契機とし、兵庫の魅力発信や活性化のため、社会教育施設において、各種事業を展開する。

2. 実施内容

(1)「HYOGOミュージアム魅力発信プロジェクト」の展開

- ・県立社会教育施設の広報展開や集客力アップに向けて、企画検討委員会を設置し企画・展開するプロジェクト。
- ・大学生によるヒョーゴ・ミュージアム・サポーターズを募集し、広報展開や集客力アップに、若者の斬新で新しいアイデアを取り入れる。

(2)各社会教育施設での展開

- ・R7年度開催展覧会の企画・開催
- ・万博開催時の来館者(外国人を含む)を見据えた対応の検討・準備
- ・万博開催に向けた機運醸成イベントの企画・開催及び万博期間中の誘客施策の検討・実施
- ・ヒョーゴ・ミュージアム・サポーターズとの協働
- ・瀬戸内国際芸術祭で他美術館とコラボ企画を検討・調整

3. R5年度事業費：1百万円

＜主な内容＞

- ・「HYOGOミュージアム魅力発信プロジェクト」の運営 1百万円

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
ミュージアム魅力発信プロジェクト	企画検討委員会設置、サポーターズ募集・選考 → 展開(企画会議、ミーティング(随時)、企画提案・実施、等)		
各施設展覧会等の企画・開催	企画立案・準備		本開催

1. 事業概要

姫路港⇄宮浦港(直島)の新規航路を開設するきっかけづくりとして、犬島(岡山県)、直島・豊島(香川県)を巡る周遊クルーズの実証実験を実施する。あわせて2025年の万博及び瀬戸内国際芸術祭の観光客取り込みを狙う。

既存の定期航路と新規航路を融合させることにより、海上交通網の充実化、3県の港の利用促進、さらには瀬戸内海クルーズの就航に繋る。

2. 実施内容

- ・ 姫路港⇄宮浦港(直島)の定期航路就航をめざし、3県(兵庫県、岡山県、香川県)の港湾管理者による港湾利用促進に向けた勉強会を実施。
- ・ 勉強会での内容を踏まえ、周遊クルーズ実証実験を実施。
- ・ 上記取組を通じ、港湾利用促進に向けた3県協定締結をめざす。

3. R5年度事業費:2百万円

<主な内容>

旅行代理店委託(備船料、募集業務等)

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
岡山県・香川県との周遊クルーズ	実証実験	実証実験	実証実験

◆クルーズルート例



チャーター船(想定)

- 高福ライナー
- 総トン数:19トン
- 全長:24m、定員:90名
- 速度:25ノット(約45km/h)

4「子どもの夢」プロジェクトの実施

・万博という特別な機会に兵庫県の子どもたちが参加できる企画を実施し、「未来に対してワクワクする」、「楽しく学び、その経験が未来につながる」など、今までに無い経験や新しい価値観に触れる機会を創出。

「子どもの夢」プロジェクトの実施 ※R5年度は企画検討のみ（予算計上なし）

検討の方向性

- 子どもたちの夢や発想を万博という機会に発信できるプロジェクトを企画・展開



（例）
県内の小学生を対象に、万博と親和性の高いテーマで作品を募集し、万博期間中、兵庫県立美術館で展示 等

- あわせて、中高生等が参加できるようなプロジェクトも今後検討



※具体的な企画内容は、令和5年度に有識者の意見を踏まえ検討

万博に参加した子どもたちに、今までにない経験や新しい価値観に触れてもらうことで、兵庫をもっと好きになってもらう

ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
プロジェクト企画等	企画	プロジェクト準備・実施(運営)	

5 機運醸成事業の実施

・万博開催に向けた機運を県内で盛り上げるため、**万博開催500日前等のカウントダウンイベント**、**兵庫の魅力発信**、**受け入れ環境整備**などの機運醸成事業を実施。

機運醸成事業の実施【R5年度事業費：7百万円】（個別事業分は含まない）

(1) カウントダウンイベント

万博開催に向けた機運を県内で盛り上げるため、**万博開催の500日前などの節目**にひょうごフィールドパビリオンの展開をはじめとした兵庫の取組みなど**万博を身近に感じてもらえるためのイベントを開催**

「大阪・関西万博」500日前イベントの開催

日時 令和5年11月30日（予定）

場所・内容 未定

<参考：万博開幕1000日前イベントの開催>

万博開幕の1000日前にあたる令和4年7月18日に兵庫の取組をPRするとともに、万博の機運醸成を目的としたイベントを開催

- ・日時：令和4年7月18日
- ・場所：兵庫県立美術館ギャラリー棟
1階ミュージアムホール・アトリエ1
- ・内容：知事基調講演 等

(2) 万博会場外駐車場隣接地の活用

万博期間中に多くの人々が利用する**尼崎フェニックス事業用地の万博会場外駐車場隣接地**を、パークアンドライドの乗り換えだけに終わらせず、**にぎわいづくりの場として有効活用**することを検討



県内各地での準備を着実にすすめ、兵庫全体で万博開催に向けた機運を盛り上げる

ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
カウントダウンイベント	500日前イベント	100日前イベント	
万博会場外駐車場隣接地の活用	企画検討・事業者調整		本開催

1. 事業概要

広報紙(県民だよりひょうご)や情報番組、各種SNSなど多彩なメディアを活用し、旬の話題(ロゴマーク、プレイベント、コンテンツの作成など)を万博開幕に向け継続・定期的に発信。

2. 実施内容

- ・県公式Twitter、Instagram、動画サイト「ひょうごチャンネル」など、それぞれのツールの特徴を生かした情報発信。
- ・発行部数140万部の「県民だよりひょうご」や毎週日曜日にテレビ放映している「ひょうご発信」において、万博関係情報の発信。
- ・県民の声により地域の魅力を再発見するU5H(兵庫五国連邦プロジェクト)とのタイアップしたコンテンツの作成。

3. R5年度事業費:337百万円(内数)

<主な内容>

- ①県民だよりひょうご 265百万円(内数)
- ②情報番組 72百万円(内数)

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
○各種SNSを活用	適宜		
○広報紙、情報番組	スポット	スポット	開幕に向け集中的に実施
○U5Hコンテンツ	作成、公開	作成、公開	

3 兵庫五国の魅力を生かした体験プログラムを募集中

2025(令和7)年大阪・関西万博を機に、兵庫五国の「活動の現場そのもの」を地域の人々が主体となって発信し、多くの人を誘い、見て、学び、体験していただく「ひょうごフィールドパビリオン」を展開します。その個々のコンテンツとして、SDGs体験型地域プログラムを募集しています。未来社会につながる地域の取り組みを世界に発信していくため、奮ってご応募ください。(県万博推進課)

全体テーマ
Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs

①12月16日(強化募集期間)までに必要書類(ダウンロード可能)を②③④または⑤申し込みフォームから県万博推進課へ
②650-8567(住所不要)
③078-362-9010
④078-362-3950
※募集期間後も、万博開催まで②③④で随時受け付け



酒米・山田錦をテーマにした旅の楽しみ方の例

見て、学び、体験する

生産地を訪れる(播磨)

- 生産者から山田錦への思いや知識、栽培技術を知り
- 「山田錦の館」で歴史、風土、栽培等について学ぶ
- 田植えや稲刈りを体験

酒造りを見る(摂津)

酒造りを見る(摂津)

- 灘五郷の酒造現場を見学
- 山田錦、宮水を使った灘五郷の酒造りを学ぶ
- 日本酒のテイスタング

+α

有馬温泉の旅館に泊まる(摂津)

- 温泉街をふらりと散策
- 神戸ビーフと山田錦の日本酒で乾杯

推進するSDGs

(県民だより掲載イメージ)

1. 事業概要

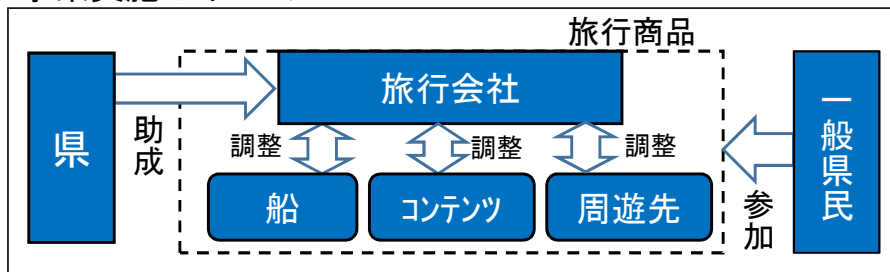
大阪・関西万博の開催を見据え、国内外からの誘客を促進する手段の1つとして、船舶特有の非日常感や船上でのコンテンツを付加価値としたクルージングMICEを推進する。

旅行会社等の民間事業者主催によるモデル事業を実施し、機運醸成を図るとともに、民間事業者による自立的な商用運航につなげる。

2. 実施内容

- (1) 実施方法：
 - ①実施する民間事業者（旅行会社や船会社）への働きかけ
 - ②旅行会社等が、船舶による移動、船上コンテンツを含めた旅行商品を造成
 - ③旅行商品を販売して一般旅行者を募集し、クルージングMICEを実施
 - ④実施内容を検証し、以後の旅行商品造成に反映
- (2) 航路：神戸（中突堤）－大阪（天保山）航路、淡路（交流の翼港、津名、洲本）－大阪（天保山）航路など、大阪湾を周遊する航路を設定
- (3) 対象者：一般県民（有料）

事業実施のイメージ



(R4.6.27 海上交通実証実験)



(船上コンテンツの例)



3. R5年度事業費：4百万円

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)		2024年度(R6)		2025年度(R7)	
クルージングMICE件数 (民間企業による実施)	5件		10件		15件	
	民間企業との調整 旅行商品の造成	検証 改善	民間企業との調整 旅行商品の造成	検証 改善	民間企業との調整 旅行商品の造成	

Cool Tradition Showcase in 兵庫津ミュージアム (仮称)

企画部

1. 事業概要

博物館の非日常空間を活かし、兵庫五国の魅力を発信するショーケースイベント等を実施し、次代を担う若者・ファミリー層や観光客・ビジネス層など新ターゲットに訴求

【再掲】

2. 実施内容

(1) 兵庫の歴史・文化・産業に根ざした舞台芸術や体験イベントの実施

① 兵庫ゆかりアーティストによる舞台芸術

「世界的芸術家・やなぎみわ氏「踊り念仏ワークショップ」、
森山未来氏 × Artist in Residence神戸「コンテンポラリー舞踏等」

② 万博コンテンツ等の体験イベント [フィールドパビリオン採択コンテンツの出張実演 等]

③ 若者による五国プロモーション [県内大学生による五国の魅力SNSプロモーション 等]



(2) 国内外からの観光・MICE利用の促進

① 観光誘客 [学校教育・修学旅行や観光周遊用のミュージアム活用プログラムの開発 等]

② MICE活用 [周遊パッケージプランの開発、自治体や企業研修用のミュージアム活用プログラムの開発 等]

③ 国際交流・ブランディング [海外の著名な類似博物館との交流・姉妹協定 等]



3. R5年度事業費：10百万円

＜主な内容＞

① ショーケース事業(舞台芸術や体験イベント) 5百万円

② PRツール作成・活用 5百万円

4. ロードマップ

項目	2022年度	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R)
舞台芸術・体験イベント	人材・ネタ発掘	→ 出演・内容調整	→ (順次)開催	→
観光誘客・MICE活用		活用プログラム等の開発	→ 試作版による運用・バージョンアップ	→ 完成版による運用
国際交流		姉妹博物館候補の選定	→ 候補博物館との交流事業	→ 姉妹協定の締結

ひょうごフィールドパビリオンの磨き上げ

～ふるさとひょうご寄附金を活用した機運醸成～

企画部
財務部

1. 事業概要

【再掲】

県内各地のひょうごフィールドパビリオンのコンテンツの磨き上げに対する支援(ふるさとひょうご寄附金)を募り、県内外からの賛同と共感を得ながら万博開催に向けた機運醸成を図る。さらに、いただいた寄附に対して、「SDGsを体現する製品」や「活動現場そのものの体験」を返礼品として提供し、寄附者自ら、見て、学び、体験していただくことにより、フィールドパビリオンのPRと兵庫ファンのさらなる獲得に繋げる。

2. 実施内容

(1) 寄附募集プロジェクト「ひょうごフィールドパビリオンの磨き上げ応援プロジェクト」【企画部所管】

① 事業内容

インバウンドの取り込みを視野に入れた県内各地のひょうごフィールドパビリオンの磨き上げの支援を行う。

② 支援対象

別途実施するモニターツアーで明らかになった課題を解決するための取組を行うコンテンツ(団体等)

(2) タイアップ返礼品の展開

フィールドパビリオンプレイヤーが提供する地場産品などの中から、提供可能な返礼品を選定

(例) 繊維・皮革・清酒などの地場産品、地場産品の製造工程見学 等

3. R5年度事業費: 4百万円

<主な内容>

① ひょうごフィールドパビリオン(SDGs体験型地域プログラム)の磨き上げ経費 2百万円

② タイアップ返礼品経費等 2百万円

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
① 寄附募集プロジェクト	寄附受付、寄附獲得に向けた広報展開、プロジェクトの実施		
② タイアップ返礼品		返礼品の内容検討→返礼品提供開始	

1. 事業概要

【再掲】

「防災」と「ツーリズム」を組み合わせることで、「楽しみながら防災を学ぶ」、「防災意識の向上とともに地域の魅力を堪能する」という相乗効果により、持続可能な、一過性にならない「防災意識の向上」と「地域の活性化」の両立を図る。創造的復興を次世代へ継承し、次なる災害に備えるため、安全安心で災害に強い社会づくりのための方策を提示（防災庁創設の必要性など）。

2. 実施内容

(1) モニターバスツアー

- ・令和5年度に、“プレ震災30年”、“プレ万博”として、「防災」×「ツーリズム」を新たな概念として打ち出し、企画募集型モニターバスツアーを実施
- ・ツアーコースは、人と防災未来センター、三木広域防災センター、E-ディフェンスや震災遺構等の防災関連拠点と、三木の山田錦や金物等の周辺の観光資源を活用

(2) フィールドパビリオンとしての活用

- ・モニターツアーの検証結果を踏まえ、2025年の「大阪・関西万博」においては、フィールドパビリオンとして、上記の地域資源を活用し、同年から民間事業者による商業化を目指す。
- ・東北・熊本と連携した「創造的復興サミット」などへの国内外からの来場者にも、ツアーを紹介し、国内外に「防災先進県ひょうご」、「ひょうご五国」を広く発信
- ・あわせて、震災を「忘れず」「伝え」「活かし」「備える」ための「防災まち歩き」を展開し、万博と同年の震災30年の節目に向けた機運を醸成



人と防災未来センター



広域防災センター

3. R5年度事業費:15百万円

<主な内容>

- ①モニターバスツアー 4百万円 ②創造的復興の発信・推進基盤の整備 7百万円 ③防災まち歩きの推進 4百万円

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①モニターバスツアー	モニターツアーの実施、検証、ツアーコース等の改善等		
②創造的復興の発信	防災ツーリズムのコンセプト、モデルコース、参加者や語り部等の体験談、創造的復興の理念等の発信		
③防災まち歩きの推進	マップ作成・広報、1.17を中心にイベント実施、ガイド育成		防災関連NPO等の取組支援

多様な人々が安心して万博に参加できる基盤づくり

～誰一人取り残さない「ユニバーサルひょうご」の実現～

福祉部

1. 事業概要

2025年大阪・関西万博の開催に向け、誰一人取り残すことなく、一人一人の多様性を認め合いながら、全ての県民が障害の有無や言語、文化等の違いに関わりなく、自らの意思でいきいきと社会参加できる「ユニバーサルひょうご」の実現を目指し、全ての人が社会的に包摂された状態で、安心して万博に参加できる基盤づくりを推進する。

2. 実施内容

(1) 目的

2025年大阪・関西万博の開催に向けた県民の障害者等に対するホスピタリティの向上（誰一人取り残すことなく迎える万博）

(2) 内容

- ①観光業従事者向け手話講座、視覚障害者の安全確保実践研修の実施
- ②県民のホスピタリティ向上のための出前講座の実施（一般・学校・企業）
- ③ひょうごから発信！みんなの声かけの普及強化、ヘルプマークの普及啓発
- ④盲ろう者の社会参加促進のためのセミナーの開催
- ⑤万博会場での情報配慮



3. R5年度事業費: 13百万円

<主な内容>

- ①ユニバーサルひょうご普及啓発強化員の設置、ヘルプマークの普及 4百万円
- ②出前講座の実施 2百万円
- ③観光業従事者向け手話講座、安全確保研修、盲ろう者理解促進セミナー等 7百万円



4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①普及啓発の強化	ユニバーサルひょうご普及啓発強化員による普及啓発、ヘルプマークの普及		万博会場「兵庫棟(仮称)」での情報配慮(手話、コミュニケーション支援ボード等)
②出前講座の実施	出前講座の実施と、受講者による地域や職域での実践活動の促進		
③手話講座、視覚障害者の安全確保研修、盲ろう者社会参加促進セミナー等の実施	手話講座の実施による、手話ができる県民の増加と視覚障害者の安全な移動の確保、盲ろう者の社会参加促進		多様な人々が活躍できる社会・誰一人取り残されない社会づくりの成果の発信(フォーラムの開催)

【再掲】

1. 事業目的

海外において、ワシントン州姉妹提携60周年記念事業や豪州との連携事業を活用したトップセールスや海外事務所の広報・プロモーション活動等により、フィールドパビリオンのPR及び誘客促進を図る。

国内では、草の根国際交流等を促進することで、海外からの誘客促進に向けた機運醸成と交流活動の強化を推進する。

万博期間中には、友好州省訪問団のフィールドパビリオンへの誘客を図るとともに、国際フロンティア産業メッセ「国際ゾーン」を設置し、海外事務所が調整する外国企業等との海外ビジネスマッチング等を展開する。

2. 実施方法

(1) 姉妹提携60周年記念事業の実施 (2023(R5)年 秋)

ワシントン州姉妹提携60周年記念事業に代表団を派遣し、トップセールスで、州政府及び市町の友好都市に対し、フィールドパビリオンのPRを実施。また、フィールドパビリオンへの誘客促進を図るため、カリフォルニア州で観光セミナーを併せて開催

(2) 豪州との連携促進の実施 (2023(R5)年 秋)

豪州に代表団を派遣し、水関連企業等との意見交換のほか、友好提携先である西豪州において、カーボンニュートラル実現に向けた協議等を実施。また、フィールドパビリオンへの誘客促進を図るため、シドニー、メルボルンで観光セミナーを併せて開催

(3) 海外事務所における広報・プロモーション (2023(R5)年～2025(R7)年)

旅行博等を通じた誘客促進や海外ビジネスマッチング創出に向けて、海外事務所における広報・プロモーション活動を強化

[LA旅行博(米国)、NY Japan Showcase(米国)、マルセイユ秋祭り(フランス)、IFTM TOPRESA(フランス)、ブックフェア(香港)等]

(4) 草の根国際交流等の促進 (2023(R5)年～2025(R7)年)

草の根国際交流(スポーツ、文化、青少年等)や、東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン交流フォローアップ、二国間交流を誘客につなげるため、連絡会議等を通じて関係市町・団体における交流事業の活性化を促進

(5) 友好州省訪問団の受入と2025国際フロンティア産業メッセ「国際ゾーン」の展開 (2025(R7)年)

友好州省訪問団のフィールドパビリオン体験を支援するほか、2025 国際フロンティア産業メッセにて「国際ゾーン」を設置し、万博出展海外企業および海外事務所経由の海外企業とのビジネスマッチングや友好州省のPR展示を展開

<メッセ国際ゾーンのイメージ>

- 友好州省PRブース
- 万博出展企業ブース
- 海外事務所経由の外国企業ブース
- 友好州省交流促進セミナー

3. R5年度事業費:34百万円((1)23百万円 (2)11百万円 ※(3)・(4)・(5)は既定経費対応)

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
(1) 姉妹提携60周年記念事業の実施	企画立案	訪問団派遣 セミナー	
(2) 豪州との連携促進の実施			
(3) 海外事務所における広報・プロモーション	海外事務所が各種イベント等で実施		
(4) 草の根交流等の促進を通じたPR	関係市町・団体との連携強化		
● 友好姉妹州省からの訪問団受入 (ひょうごフィールドパビリオンへの誘客)			訪問団受入
● 国際フロンティアメッセ国際ゾーンでの海外 ビジネスマッチングと友好州省PR展示			メッセ国際ゾーンでの 海外ビジネスマッ チング等

1 事業概要

インバウンドの本格展開及び2025年大阪・関西万博開催を見据え、体験型コンテンツのさらなる磨き上げを行い、誘客促進・受入環境充実を図り、ひょうごフィールドパビリオンにもつなげる。また、体験型コンテンツを提供・販売する事業者に対し、旅行商品化等の販売活動及び受入環境の整備を支援する。

2 実施内容

(1)対象 兵庫DC、プレDCの「兵庫テロワール旅」コンテンツを提供する事業者等

ひょうご観光本部ツーリズムプロデューサー指導の下「兵庫の魅力再発見コンテンツ」を開発する事業者

- (2)支援内容
- ①コンテンツの磨き上げ、海外及び全国展開のための観光本部ツーリズムプロデューサー等による現地指導、ガイド育成 等
 - ②販売実績等を踏まえたコンテンツの見直し
 - ③R2年度～R4年度まで実施してきたサイクルツーリズム事業のコンテンツについて、商品化を促進し、収益化に結びつける取組み
 - ④インバウンドを想定したファミツアーや商談会、国内外プロモーションの展開
 - ⑤WEB・SNSでの多言語情報発信、施設の多言語案内、情報通信環境の充実 等

3 R5年度事業費：32百万円

- ①テロワールコンテンツの磨き上げ：4百万円
- ②コンテンツの見直し：2百万円
- ③サイクルツーリズム早期収益化：4百万円
- ④誘客促進：12百万円
- ⑤受入環境整備支援：10百万円

4 ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
旅行商品企画・販売		テロワールコンテンツの磨き上げ	
		販売実績等を踏まえたコンテンツ見直し	
受入環境の充実		販売・宣伝活動	ガイド実践
	ガイド育成、多言語化、情報通信環境の充実 等	万博開催	成果検証



1 事業概要

(1) 広域観光誘客事業

2025年大阪・関西万博開催を見据え、さらなる観光客の誘致につなげるため、関西または兵庫・大阪の素材を活かした広域周遊モデルコース等の造成及び販売促進を行うことにより、世界有数の広域観光エリアの形成をめざす。

(2) 万博プラス関西観光推進事業

万博来場者を関西観光に誘うため、万博のテーマ等を踏まえた旅行商品・コンテンツ造成、プロモーション、旅ナカ・サポート等の情報発信等を一連の事業として一体的かつ総合的に、2023年度から2025年度の3か年において集中的に実施する。

2 実施内容

項目	内容
広域周遊モデルコース等の造成	<ul style="list-style-type: none"> ・広域周遊モデルコースの造成を行うことによる来訪者の関西への周遊、滞在促進 ・旅行会社等への売込みの結果を踏まえた効果検証
販売促進プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社(国内・インバウンド)へのコース・ツアーの売り込み ・WEB等による造成したコース・ツアーのPR

3 R5年度事業費：17百万円

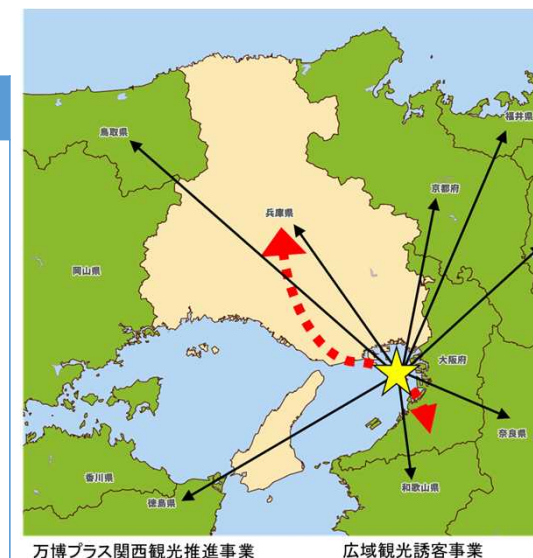
(1) 広域観光誘客事業12百万円

(2) 万博プラス関西観光推進事業5百万円

4 ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
(1) 広域観光誘客事業	ニーズ調査		
	周遊コース造成		
		成果検証	
(2) 万博プラス関西観光推進事業			
	周遊コース造成		
		販売促進業務等 プロモーション等情報発信	
			万博開催

【イメージ図】



万博プラス関西観光推進事業

広域観光誘客事業

1. 事業概要

国内外から観光客の入込が想定される2025年大阪・関西万博に合わせ、世界共通の課題であるSDGsの取組支援を通じて、地場製品の魅力向上を図り、地場産業のブランド価値向上を推進する。

2. 実施内容

・産地組合及び産地企業のSDGsの取組を支援

産地組合向け	産地企業向け
ア SDGs計画策定支援 ①導入に向けた研究(先進事例調査等)・仕組みづくり・ソフト作成 ②推進人材の育成 等	
イ SDGs実践支援 ①新素材・技術・製造方法改良研究 ②設備導入 ③商品開発 等	同左
ウ SDGs発信支援 ①コンテンツ作成 ②プロモーション ③関連イベント開催、展示会出展 等	



▲漁網再生生地を利用した靴
(ケミカルシューズ)



▲残糸を再利用した生地
(播州織)

3. R5年度事業費:50百万円

4.ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
地場産業のSDGs取組推進	SDGs計画策定 SDGs実践	SDGs実践 SDGs発信	【2025大阪・関西万博】 フィールドパビリオン として展開

1. 事業概要

人口減少により国内マーケットの縮小が見込まれる中で、県産農林水産物等の国内から海外市場への展開を図るため、平成28年度からパリ(フランス)、令和2年度からはマレーシアにおいてプロモーションを実施している。

今後は、大阪・関西万博の開催に向けて、食材のPRを通じたインバウンドの呼び込みなど、県産農林水産物のより一層の認知度向上を図る取組を進める。



2. 実施内容

大阪・関西万博の開催に向けて、東アジア・EUにおける県産農林水産物等の認知度向上を図るため、知事のトップセールスによるプロモーションとして、シェフやバイヤー、メディア等を対象としたレストランフェアをマレーシア、フランス(パリ)において開催。



3. R5年度事業費:11百万円

<主な内容>

知事トップセールスプロモーション(レストランフェア)



4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
知事プロモーション	レストランフェア		

1. 事業目的

港湾施設を機能強化し、クルーズ船やスーパーヨットの受入れ環境の充実により、万博を契機に兵庫県域の大阪湾ベイエリアに人を呼び込む

2. 実施方法

(1) 淡路交流の翼港

浮棧橋の改良や護岸の嵩上げ等の周辺整備により、クルーズ船接岸時の安全性や利便性を向上する

(2) 新西宮ヨットハーバー【ビジターバース】

老朽化した電気設備等の改修を行い、スーパーヨットの受入れ環境を改善する

3. R5年度事業費:200百万円

①淡路交流の翼港 190百万円

②新西宮ヨットハーバー【ビジターバース】 10百万円



淡路交流の翼港の浮棧橋(現況)

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①淡路交流の翼港	設計	工事 ・浮棧橋改良 ・護岸嵩上げ等の周辺整備	
②新西宮ヨットハーバー【ビジターバース】	計画策定・設計	工事 ・電気設備等改修	

「具体」による地域のブランド力向上

1. 事業概要

近年世界的に再評価されている阪神南地域発祥の前衛美術である「具体」について、万博開催期間中に美術館による「具体」作品展示及びアートフェスティバルを開催することにより、万博来場客の地域への誘客を図るとともに、地域のブランド力向上に資する。

2. 実施内容

(1) 阪神間の各美術館が連携した自館所蔵「具体」作品の展示(県立美術館と協力して実施)

<所蔵美術館> 兵庫県立美術館、芦屋市立美術博物館、尼崎市総合文化センター白髪一雄記念室、西宮市大谷記念美術館

(2)「GUTAIアートフェスティバル」の開催

(1)と連動し、「具体」を題材としたアートフェスティバルを開催する。

(例) ・記録映像の解説付上映会 ・パフォーマンスの子ども体験事業 ・具体作家トークセッション

(3) 阪神間“GUTAI”マップ作成

「具体」作品所蔵美術館の情報やかつての具体美術協会や作家の活動拠点、ゆかりの場所等を盛り込んだマップとともに、周遊を誘導する仕掛け(AR等)を作成し、「具体」作品展示やアートフェスティバルの集客に活用する。

(4) 有識者による検討委員会を立上げ(2023年)

美術館の連携、アートフェスティバルの企画、マップ・AR等制作について方針決定・制作監督

3. R5年度事業費:5百万円

- ①GUTAIアートフェスティバルの実施調査費 3百万円(フィジビリティ調査・AR等サンプル作成)
- ②阪神間“GUTAI”マップ作成費 2百万円(R4作成物の追加・更新)
- ③有識者会議の運営 0.3百万円(年3回+ワーキング5回)



野外具体美術展(1956年)

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
アートフェスティバル	実施調査・サンプル制作	AR等本格制作	フェスティバル開催 (各美術館の展示と連携)
“GUTAI”マップ	マップ作製	最新情報を追加・更新	
有識者会議	美術館の連携、アートフェスティバルの企画・運営、マップ・AR等制作監督のため随時開催		

1. 事業概要

【再掲】

古くから水運に利用されてきた尼崎運河は、尼崎臨海部の貴重な財産であり、尼崎21世紀の森構想が掲げる「森と人と水が共生する」まちづくりを推進するため、地域や市民との協働により運河を核としたその魅力を発信する。

2. 実施内容

尼崎運河活性化に携わる方々(※)と意見交換を図りながら、以下の項目を検討実施していく。

※NPO尼崎21世紀の森、徳島大学(水質浄化に係る研究)、周辺企業、学校、尼崎市等

(1) 魅力ある水辺空間の創出

・蓬川公園沿いにSUP(スタンドアップパドルボート)拠点の整備、フィールドパビリオンとしての運河クルーズの本格実施。

尼崎の森中央緑地第三工区での民間活力による賑わい施設の整備

(2) 21世紀の森の取組成果の発信と環境学習の新たな展開

・脚光を浴びつつある臨海部のPRのためこれまで20年にわたる21世紀の森の取組成果を分かりやすく発信するとともに、ベイエリア(県外含む)からの環境学習への参加者拡大を図る

(3) 水質浄化施設・キャナルベースの機能強化

・新たな魚礁の設置等による研究機能の強化、係留機能の強化、バリアフリー化等による交流機能の強化、耐久性の向上



尼崎運河でのSUP活動

3. R5年度事業費:14百万円

- ① 尼崎運河クルーズ社会実験イベント(仮称) 1百万円
- ② 環境学習フェスティバル(仮称) 1百万円
- ③ 水質浄化施設の機能向上、耐久性向上に向けた調査設計 12百万円

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
魅力ある水辺空間の創出	尼崎運河クルーズ社会実験 SUP拠点整備検討、第三工区 賑わい創出に関する民間公募	尼崎運河クルーズ本格実施 に向けた対策の実施 SUP拠点整備、第三工区民間活力による賑わい創出	尼崎運河クルーズの本格実 施
水質浄化施設等の機能 強化、環境学習の推進	水質浄化施設機能強化等調査 設計、環境フェスティバル実施	水質浄化施設の機能強化及び環境学習の新たな取り組み	

万博会場外駐車場(尼崎地区)を活用した にぎわいづくり

【再掲】

1. 事業概要

万博期間中、1日最大1万人近い人が利用する会場外駐車場を、パークアンドライドの乗り換えだけで終わらせずに、フィールドパビリオンへの誘導や地域の魅力発信など、にぎわいづくりの場にするため、会場外駐車場隣接地を有効活用する。

2. 実施内容

- (1) 実施場所: 尼崎フェニックス事業用地(敷地面積 約9.7ha)の隣接地
- (2) 実施主体: 県、尼崎市、観光協会など
- (3) 内 容:
 - ・物産展(本庁)
 - ・県内のフィールドパビリオンなど観光施設の案内(本庁)
 - ・尼崎市の観光案内、特産物の販売等(尼崎市)
 - ・ものづくり産業、次世代環境技術のPR など
- (4) 対 象 者: 万博来場者、万博関係者等

3. R5年度事業費: ー



4. ロードマップ

項 目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
内容検討・計画策定	計画検討(展示・出展内容の検討、関係団体との調整、プレイベントの実施)	計画決定	
展示・イベント開催		出展・出演者調整	開催

「農・食」「伝統産業」「歴史・文化」が創る 北播磨ツーリズムの推進

1. 事業概要

兵庫DC・アフターDC、大阪・関西万博を見据え、北播磨の豊かな自然、多彩な農畜産物、伝統ある産業、歴史・文化等の地域資源を磨き上げながら、地域内外に魅力を発信し、交流人口や関係人口を拡大を図る。

2. 実施内容

- (1) 北播磨がほこる観光資源を限りなく現実に近い臨場感をもって体験してもらうためVR化を行う。
- (2) 現実空間に様々な情報を表示させるARを活用して北播磨のPRを行うとともに、地域の周遊を促すためスタンプラリーを実施する。
- (3) 地域内外の魅力を訪問者に効率的にアピールし、おもてなし力の向上を図るため、これまで育成してきた観光ボランティアの登録制度を創設し、有効活用を図る。
- (4) ゆっくりと北播磨の豊かな自然・歴史・食に触れ、地域の魅力を再発見するため、自然やグルメを楽しむサイクルイベントを実施する。



サイクリングイベント

3. R5年度事業費：7百万円

＜主な内容＞

- | | |
|--------------|------|
| ①VRによる観光PR | 1百万円 |
| ②ARスタンプラリー | 1百万円 |
| ③サイクルイベントの実施 | 2百万円 |

4. ロードマップ

項 目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
①VRによる観光PR	作成	観光PR	
②ARスタンプラリー	作成	スタンプラリーの実施	
③サイクルイベントの実施		サイクルイベント	

1. 事業概要

山田錦(酒米)の生産量は、兵庫県が全国1位であり、その約85%を北播磨地域で生産している。兵庫県産山田錦は酒造メーカーからの評価も高く、地域に誇る特産品であるが、日本酒の国内消費の低迷に伴い、山田錦の作付面積も減少傾向にある。山田錦の担い手・後継者の育成・確保とブランド力の向上を図るため、日本農業遺産認定申請や山田錦まつりの開催など、大阪・関西万博に向け国内外への魅力発信を行う。

2. 実施内容

- (1) 日本農業遺産への認定を目指すため、調査や専門家の指導助言を得る。
- (2) 山田錦の担い手・後継者の育成・確保と認知度・ブランド力の向上を図るため、山田錦の語り部による出前授業の実施や生産者講習会等への講師派遣を行う。
- (3) 地域内外に山田錦の魅力を発信するため、令和6年度(プレ万博)から、語り部等による説明や山田錦を使った日本酒の展示・販売を行う山田錦まつりを開催する。



山田錦の語り部による講習

3. R5年度事業費: 2百万円

- <主な内容>
- ①日本農業遺産認定申請への調査・検討 2百万円
 - ②山田錦の語り部講師派遣 0.2百万円
 - ③山田錦まつりの開催(R5年度はイベント検討・調整のため予算無し)

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①日本農業遺産認定申請への調査・検討	調査・検討	日本農業遺産認定申請	シンポジウム・魅力発信
②山田錦の語り部講師派遣	出前授業・生産者等への講習会への講師派遣		
③山田錦まつりの開催	検討・調整	山田錦まつりの開催	山田錦まつりの開催

1. 事業概要

地域団体が地域の課題解決に向けた取組をより活発に行うことができるよう、地域主導のもと「地域づくり活動応援事業」の取組を進める。2025年大阪・関西万博の開催に合わせて、「ひょうごフィールドパビリオン」の展開を推進するため、「DC・万博推進枠」を設置し、地域独自のSDGsの取組や大阪・関西万博に関するイベント等を支援する。

2. 実施内容

(1) 内容

大阪・関西万博に向けた機運醸成や「ひょうごフィールドパビリオン」、SDGsに関する取組等を実施する地域団体に対して、特別枠を設置し支援を行う。

置塩城跡の歴史を参加者自らが学び、継承する事業



SDGsの目標に関する絵を描き、理解を深めるイベント



補助対象事業例



人間そっくりのかかしを展示し、地域の魅力を体験・発信するイベント

3. R5年度事業費: 9百万円

<主な内容>

①補助金

DC・万博推進枠: 1百万(必要に応じ拡大)

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①補助金	募集、公開審査・補助金交付決定、事業実施、実績報告等	募集、公開審査・補助金交付決定、事業実施、実績報告等	募集、公開審査・補助金交付決定、事業実施、実績報告等

【再掲】

1. 事業概要

大阪・関西万博に向けて、経済団体等と連携し、3カ年(R5～7年度)で、ひょうご中はりまブランドの周知に努め、万博に向けた機運醸成を図る。

2. 実施内容

① 海外での中はりま食文化PR

はりまの酒、乾麺、姫路の菓子、水産練製品等、中播磨の食について、フランス等海外でPRすることで、中播磨の食文化を紹介し、中播磨地域への関心を高め、万博への誘客促進につなげる。

② 新技術等の実用化に向けた中はりま公民連携

社会課題の解決に向け、自動運転、ドローン、燃料電池などの新技術等の実証実験や調査等を公民連携で実施し、万博会場等での展示につなげる。

③ 中はりま産業SDGs PR

JCフェスタにおいて、中播磨の企業が行うSDGsへの取組等をPRするとともに、万博の広報を行い、万博に向けた機運醸成を図る。



3. R5年度事業費:6百万円

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①海外での中はりま食文化PR		中播磨の食文化展示・紹介	
②新技術等の実用化に向けた中はりま公民連携		実証実験・調査、成果発表	
③中はりま産業SDGs PR	JCフェスタでのPR		

【再掲】

1. 事業概要

姫路港⇄宮浦港(直島)の新規航路を開設するきっかけづくりとして、犬島(岡山県)、直島・豊島(香川県)を巡る周遊クルーズの実証実験を実施する。あわせて2025年の万博及び瀬戸内国際芸術祭の観光客取り込みを狙う。

既存の定期航路と新規航路を融合させることにより、海上交通網の充実化、3県の港の利用促進、さらには瀬戸内海クルーズの就航に繋る。

2. 実施内容

- ・ 姫路港⇄宮浦港(直島)の定期航路就航をめざし、3県(兵庫県、岡山県、香川県)の港湾管理者による港湾利用促進に向けた勉強会を実施。
- ・ 勉強会での内容を踏まえ、周遊クルーズ実証実験を実施。
- ・ 上記取組を通じ、港湾利用促進に向けた3県協定締結をめざす。

3. R5年度事業費:2百万円

<主な内容>

旅行代理店委託(備船料、募集業務等)

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
岡山県・香川県との周遊クルーズ	実証実験	実証実験	実証実験

◆クルーズルート例



チャーター船(想定)

- 高福ライナー
- 総トン数:19トン
- 全長:24m、定員:90名
- 速度:25ノット(約45km/h)

「水」と「緑」と「古」に出会う西播磨ツーリズムの推進

いにしえ

1. 事業概要

西播磨地域の美しい「水」や「緑」にまつわる観光資源、この地に根ざした「古(いにしえ)」の歴史資源や伝統文化を積極的に情報発信するとともに、交流人口の拡大・万博に向けた誘客促進など、戦略的なツーリズムを推進

2. 実施内容

(1)「西播磨水のさと」水系自慢プロジェクト

「水」にまつわる観光資源の知名度向上と誘客促進を図るため、西播磨地域の「水」をテーマにしたコンテストの開催等、積極的に情報発信

(2)古(いにしえ)体験プログラム

管内に130以上ある山城をはじめとする史跡、甲冑や刀剣等の伝統文化体験、酒・醤油・味噌づくり等の発酵文化体験等を活用し、県内外やインバウンドの誘客を促進

(3)「観光カード」による観光プロモーション

管内の写真映えする観光スポットのPR・知名度向上を図るため、インバウンド等をターゲットに、多言語対応可能な観光カードを作成し、イベント等で配布



3. R5年度事業費:4百万円

<主な内容>

- ①「西播磨水のさと」水系自慢プロジェクト 2百万円
- ②古(いにしえ)体験プログラム 1百万円
- ③「観光カード」による観光プロモーション 1百万円

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
「水」と「緑」と「古」に出会う 西播磨ツーリズムの推進	古(いにしえ)体験プログラム		
	観光カード 水系自慢プロジェクト	観光カード 水系自慢プロジェクト	観光カード 水系自慢プロジェクト

1. 事業概要

【再掲】

地域が主体的に体験型コンテンツ等を創り上げる支援を行いつつ、日本遺産を始めとした但馬の多彩な観光資源等の活用を促すとともに、旅行者ニーズの多様化に対応する土壌を育み、発展させることで新たな観光ニーズの掘り起こしを行う。

2. 実施内容

(1) 地域特性を活かした取り組み支援

既存の観光資源の新たな活用のための企画づくりや環境整備、二次交通の充実など、地域特性を活かしたコンテンツの磨き上げに関する取り組みを支援する。

(2) 但馬のツーリズム情報発信事業

ア 観光コンテンツ・観光スポットの広報充実事業

兵庫DCの効果の継続を図るとともに、ひょうごFPなどを意識した新たな観光コンテンツの国内外への効果的な広報・情報発信事業を展開

イ 「銀の馬車道・鉱石の道」を活かした歴史トリップストーリー

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」と姫路城、城崎温泉などの関連施設等と連携させたストーリー形成を図るため、魅力的なテーマの掘り起こしにより、姫路市から豊岡市までの全県縦断ルートを構築し、今後の誘客促進及び情報発信に活用

3. R5年度事業費：8百万円

①地域特性を活かした取り組み支援 5百万円

②但馬のツーリズム情報発信 3百万円

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
	兵庫DC	アフターDC	
①地域特性を活かした取り組み支援	既存コンテンツの磨き上げ		ひょうご FP開催
②但馬のツーリズム情報発信	多様な観光コンテンツ・スポットの情報発信		
ア 広報充実事業	歴史リサーチ、記事作成・掲載	ツアープラン作成・実施	
イ 歴史トリップストーリー			

1. 事業概要

国指定重要無形民俗文化財である淡路人形浄瑠璃の魅力国内外へ発信し、淡路地域への観光客誘引につなげるとともに、伝統文化の保存・継承の機運の向上を図る。

2. 実施内容

(1) 淡路人形浄瑠璃特別公演の開催

県立芸術文化センターで実施している淡路人形座による公演を万博期間に合わせて開催し、人形浄瑠璃街道連絡協議会の構成団体も交え、各地の人形浄瑠璃の個性を際立たせ、伝統文化の魅力を発信する。

(2) 観光客受入環境向上

万博の開催に向けて淡路人形座の観光客受入環境向上のための取組を継続していく。

- ・淡路人形座の立地をわかりやすくするための懸垂幕の設置
- ・インバウンド対応のための外国語対応イヤホンガイドの導入 等



3. R5年度事業費:0.7百万円

<主な内容>

観光客受入環境向上のための経費

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①特別公演	公演内容企画立案		
②観光客受入環境向上	懸垂幕の設置、外国語対応イヤホンガイドの導入等		

1. 事業概要

高速舞子バスストップは、淡路島・四国への高速バスの玄関口として重要な交通拠点であり、万博開催時には、淡路島で展開されるフィールドパビリオンに訪れる観光客により、バスストップ利用者の一層の増加が見込まれる。一方で、JR舞子駅や山陽電鉄舞子公園駅からの動線が分かりづらく、待合施設や案内施設も十分ではないことから、高速バス利用者にとって快適な待合環境を創出するため、関係機関や施設管理者と連携し、高速舞子バスストップのリニューアルを行う。

2. 実施内容

(1) アクセスルートの明確化

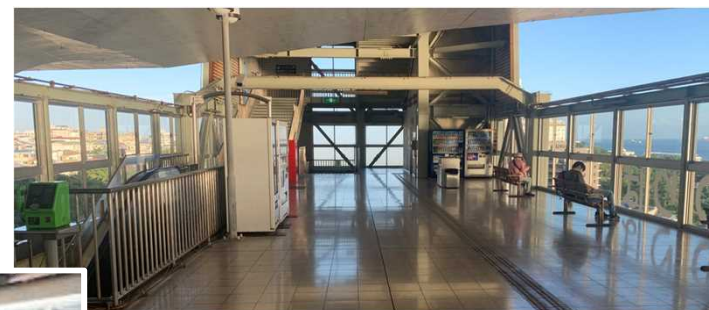
案内路面標示、大型案内サインの設置 等

(2) 待合環境の整備

待合ベンチのリニューアル、デジタルサイネージの設置 等

(3) その他

観光紹介モニター、観光案内ブースの設置 等



高速舞子バスストップ
現在の4階フロアの様子

3. R5年度事業費:4百万円

<主な内容>

施設整備

(総事業費30百万円。バス事業者へ
県、淡路島内3市で補助)



案内路面標示 (イメージ)



待合ベンチ (イメージ)



デジタルサイネージ (イメージ)

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
施設整備		施設整備	施設運用開始

1. 事業概要

国内外の多くの観光客から注目される「2023年兵庫デスティネーションキャンペーン(以下DC)」や「2025年大阪・関西万博」を見据え、宿泊施設等と連携した共同事業展開やインフルエンサーを活用した情報発信のほか、「淡路ならではの」、「特別感」をコンセプトにした着地型観光商品として磨き上げを行い、インバウンドを含む遠方からの来島者を増加させる。

2. 実施内容

(1) デスティネーションキャンペーン連携事業

遠方の来訪者増加が予想される兵庫DC期間において、有名企業と連携して淡路島産食材（淡路島なるとオレンジなど）を生かしたウェルカムスイーツの開発を行い、主要宿泊施設で提供する。

(2) 大阪・関西万博連携事業

①淡路島観光協会の繁体字版サイトを活用したインバウンド向けの情報発信

②関西国際空港全体構想促進協議会等と連携し、中国、台湾、香港からのインバウンドの獲得に向け、インフルエンサーを活用したファムトリップ（誘客の対象：富裕層、海外VIP、一般層）を行い、情報発信やツアー商品を造成

③大阪・関西万博に向けた着地型観光商品の開発、旅行会社向けファムトリップ、淡路島観光協会ホームページにおけるツアー特集ページの作成

3. R5年度事業費：4百万円

<主な内容> (1) DC連携事業 (2) 大阪・関西万博連携事業
(総事業費13百万円。県、淡路島内3市、淡路島くにうみ協会、淡路島観光協会で負担)

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
(1) DC連携事業	商品開発 DC(商品提供)		
(2) 大阪・関西万博連携事業		①繁体字サイトを活用した情報発信	
①インバウンド向けの情報発信	②ファムトリップ	②中国、台湾、香港向けの情報発信	
②関西国際空港全体構想促進協議会等と連携	②ツアー商品の造成		
③着地型観光商品の開発等		③着地型観光商品の開発	
	③ファムトリップ	③ツアー特集ページの作成	

AWAJI 島博（仮称）の実現に向けた取組の推進

1. 事業概要

【再掲】

令和7年度に開催される大阪・関西万博に合わせ、ひょうごフィールドパビリオンが全県で展開される。淡路島においては、島全体をフィールドパビリオンとして位置付け、地域の幅広い取り組みを「AWAJI島博(仮称)」として展開し、情報発信を行い、島内へのさらなる誘客を促進する。

- ① テーマ いのち輝く島AWAJI(キャッチフレーズ)
- ② 開催期間 令和7年4月13日～10月13日(大阪・関西万博と同期)
- ③ 内容
 - ・ 淡路島の魅力的な自然、歴史・文化、食、産業、温泉、イベントなどの多彩なコンテンツを集約してストーリー化し、万博に併せて効果的に発信
 - ・ 統一ロゴを作成し、参画する多彩なコンテンツ・ストーリーをトータルで発信
 - ・ 「ひょうごフィールドパビリオン」と連携し、コンテンツの磨き上げを推進

2. 実施内容

- (1) 実行委員会の立ち上げ
- (2) 島博のシンボルとなる統一ロゴの作成
- (3) 情報発信

3. R5年度事業費: 1百万円

<主な内容>

- (1) 実行委員会設立、(2) 統一ロゴの作成、(3) 情報発信
(総事業費3百万円。県、淡路島内3市、民間団体等で負担)

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
(1) 実行委員会設立	実行委員会の設立・開催	実行委員会の開催	AWAJI島博(仮称)の開催
(2) 統一ロゴの作成	統一ロゴの作成	参画コンテンツの決定・ストーリーの作成	
(3) 情報発信	ホームページ(HP)の開設	HPの更新、旅行会社へのプロモーション、ガイドブック等の作成	

6 推進体制の構築

- ・**県内41市町長、関係団体等が参画する推進協議会**を設置し、万博関連事業の情報共有による機運醸成を行う。
- ・推進協議会の下部組織として**企画委員会を設置**し、各事業展開にかかる企画立案を実施。
- ・ひょうごフィールドパビリオンのプロモーションに向けて、ストーリーのプログラムやSDGsの観点で説明できる、発信力のある方を**アンバサダーとして任命**し、プロモーション等の活動を行っていただく。

推進体制の構築 【R5年度事業費：3百万円】

<推進体制イメージ>

「大阪・関西万博」ひょうご活性化推進協議会(仮称)

R5.3設置(予定)

【所掌事務】

県実施事業・構成団体実施事業など**万博関連事業の情報共有**

【構成員】

知事、41市町長、商工会議所・商工会、金融機関、DMO・観光協会、旅行事業者、交通事業者、農漁業関係団体、双ミ、ひょうごフィールドパビリオンプログラム提供者 等

連携・調整

「大阪・関西万博」ひょうご活性化推進本部(庁内)

R4.6設置済

【所掌事務】

県万博関連事業の情報共有、県の取組みの推進

【構成員】

知事、全部長等、県民局・県民センター長
※推進協議会構成員である「兵庫県」における推進本部

ひょうごフィールドパビリオンアンバサダー

※推進協議会設置にあわせて第1弾任命予定

意見聴取 ↓ ↑ 提言

「大阪・関西万博」ひょうご活性化推進協議会企画委員会(仮称)

R5.3設置(予定)

【所掌事務】

万博に向けた以下事業の推進にかかる**企画検討**

- ①FPの磨き上げおよび国内外への広報・プロモーション
- ②万博会場「兵庫棟(仮称)」、県立美術館における展示内容
- ③万博開催前および開催期間中における各種イベント 等

【構成員】

現フィールドパビリオン検討コアメンバー会議委員、各分野専門家 等

県、市町、民間事業者等関係者と方向性を共有、連携し、オール兵庫での取組みを推進

7 連絡窓口

<各個別事業項目および連絡窓口>

ページ	項目	連絡窓口		
4	ひょうごフィールドパビリオンの展開	企画部	万博推進課	078-362-9010
6	ひょうごフィールドパビリオンの磨き上げ ～ふるさとひょうご寄附金を活用した機運醸成～	企画部	万博推進課	078-362-9114
		財務部	財政課	078-362-9061
7	防災ツーリズム	危機管理部	防災支援課	078-362-9870
8	「北摂里山地域循環共生圏」のF P展開	環境部	環境政策課	078-362-3288
9	上山高原のF P展開	環境部	自然・鳥獣共生課	078-362-3389
10	景観資源を活用したひょうごフィールドパビリオンとの連携	まちづくり部	都市政策課	078-362-9299
11	県立都市公園における万博及びひょうごフィールドパビリオンとの連携	まちづくり部	公園緑地課	078-362-9308
12	次代につなぐ湊川隧道の保存・継承と魅力発信	神戸県民センター	神戸土木事務所	078-737-2382
13	「都市山・六甲山」魅力体験プラン ～SDGsフィールド六甲山～	神戸県民センター	県民交流室県民・産業振興課	078-647-9095
14	大阪・関西万博に向けた交流の促進	阪神南県民センター	県民交流室県民・産業振興課	06-6481-4618
15	尼崎運河の魅力発信	阪神南県民センター	尼崎港管理事務所尼崎21世紀 プロジェクト推進室	06-6105-4431
16	阪神北地域におけるフィールドパビリオンと連動した地域の魅力向上	阪神北県民局	阪神農林振興事務所農政振興課	079-562-8848
			県民交流室環境課	0797-61-4015
17	INAMINOため池 S D G s プロジェクト	東播磨県民局	地域振興室県民課	079-421-9063
18	大阪・関西万博を契機とした北播磨の魅力創出・発信	北播磨県民局	総務企画室総務防災課	0795-42-9318
19	先人の知恵と工夫で農・生活を支える「東条川疏水」の情報発信	北播磨県民局	加古川流域土地改良事務所	0794-70-7001
20	播磨のさかなとブルーツーリズム支援	中播磨県民センター	姫路農林水産振興事務所水産課	079-281-9295
21	食と農で結ぶ「夢前ゆめ街道づくり」の推進	中播磨県民センター	姫路農林水産振興事務所農政振興課	079-281-9275
22	但馬の多彩な観光資源の再構築	但馬県民局	地域政策室地域づくり課	0796-26-3685
23	「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録に向けた情報発信	淡路県民局	交流渦潮室交流渦潮課	0799-26-2085
25	兵庫棟(仮称)・兵庫県立美術館における魅力発信	企画部	万博推進課	078-362-9058

7 連絡窓口

ページ	項目	連絡窓口		
27	「兵庫県版テーマウィーク」の設定による魅力発信	企画部	万博推進課	078-362-9114
29	Cool Tradition Showcase in 兵庫津ミュージアム（仮称）	企画部	地域振興課	078-362-4031
30	兵庫の多彩な地域遺産の魅力発信	企画部	地域振興課	078-362-4021
31	2025年大阪・関西万博に向けた芸術文化魅力発信の強化	県民生活部	芸術文化課	078-362-9077
32	創造的復興知事サミット（仮称）	危機管理部	防災支援課	078-362-4354
33	みんなで広げよう「健口の輪」 ～歯と食からはじめる健康革命プロジェクト～	保健医療部	健康増進課	078-341-7711
34	海外からの誘客促進～海外事務所等を活用したPR強化～	産業労働部	国際課	078-362-3026
35	万博に向けた国際フロンティア産業メッセの開催	産業労働部	地域産業立地課	078-362-3334
36	県立淡路景観園芸学校における国際交流事業の展開	まちづくり部	公園緑地課	078-362-9308
37	県立社会教育施設の魅力発信プロジェクト	教育委員会	社会教育課	078-362-9434
38	マリンスポーツを活用した臨海部活性化	阪神南県民センター	県民交流室県民・産業振興課	06-6481-4618
39	万博会場外駐車場（尼崎地区）を活用したにぎわいづくり	企画部	万博推進課	078-362-4217
		阪神南県民センター	県民交流室	06-6481-4618
40	北播磨「農」と「食」の祭典の開催	北播磨県民局	加東農林振興事務所農政振興課	0795-42-9422
41	播磨中央公園におけるスポーツ拠点の整備	北播磨県民局	加東土木事務所企画調整担当	0795-42-9382
			公園・下水道課	0795-42-6929
42	ウィーンの森、世界の森との交流	丹波県民局	丹波農林振興事務所森林課 県民交流室たんば共創課	0795-73-3795 0795-73-0690
43	淡路島ため池1万カ所博覧会	淡路県民局	洲本土地区改良事務所農村計画第2課	0799-26-2117
44	AWAJI島博（仮称）の実現に向けた取組の推進	淡路県民局	交流渦潮室交流渦潮課	0799-26-2015
45	【再掲】「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録に向けた情報発信	淡路県民局	交流渦潮室交流渦潮課	0799-26-2085
47	水素旅客船の運行	産業労働部	新産業課	078-362-3054
48	次世代モビリティ（空飛ぶクルマ）の運行	産業労働部	新産業課	078-362-3054
49	自動運転による来訪者移動支援	企業庁	地域整備振興課	078-362-3698

7 連絡窓口

№	項目	連絡窓口		
50	先端医療技術等の体験・普及啓発	病院局	企画課	078-362-3299
51	臨海部での次世代モビリティ走行	阪神南県民センター	県民交流室県民・産業振興課	06-6481-4618
52	臨海部での脱炭素の推進	阪神南県民センター	県民交流室県民・産業振興課	06-6481-4618
53	万博に向けた中はりまの産業PR	中播磨県民センター	県民交流室産業観光課	078-281-9406
54	スマートコミュニティの推進（シリ丹バレー）	丹波県民局	県民交流室総務防災課	0795-73-3724
55	「あわじ環境未来島」体感プロジェクト	淡路県民局	交流渦潮室交流渦潮課	0799-26-2125
57	【再掲】 創造的復興知事サミット（仮称）	危機管理部	防災支援課	078-362-4354
58	【再掲】 県立社会教育施設の魅力発信プロジェクト	教育委員会	社会教育課	078-362-9434
59	岡山県・香川県との周遊クルーズ実証実験	中播磨県民センター	姫路港管理事務所	079-235-0176
61	「子どもの夢」プロジェクトの実施	企画部	万博推進課	078-362-9058
63	機運醸成事業の実施	企画部	万博推進課	078-362-9114
64	多彩なメディアを活用した広報展開	総務部	広報広聴課	078-362-3016
65	大阪湾バイエリア活性化（クルージングMICE）	企画部	万博推進課	078-362-4217
66	【再掲】 Cool Tradition Showcase in 兵庫津ミュージアム（仮称）	企画部	地域振興課	078-362-4031
67	【再掲】 ひょうごフィールドパビリオンの磨き上げ ～ふるさとひょうご寄附金を活用した機運醸成～	企画部	万博推進課	078-362-9114
		財務部	財政課	078-362-9061
68	【再掲】 防災ツーリズム	危機管理部	防災支援課	078-362-9870
69	多様な人々が安心して万博に参加できる基盤づくり	福祉部	ユニバーサル推進課	078-362-4379
70	【再掲】 海外からの誘客促進～海外事務所等を活用したPR強化～	産業労働部	国際課	078-362-3026
71	「兵庫テロワール旅」誘客のための受入環境充実	産業労働部	観光振興課	078-362-3696
72	広域観光コンテンツ造成等周遊促進	産業労働部	観光振興課	078-362-3696
73	地場産業のSDGs推進	産業労働部	地域産業立地課	078-362-3331

7 連絡窓口

ページ	項目	連絡窓口		
74	ひょうごの「農」「食」輸出拡大の加速化	農林水産部	流通戦略課	078-362-9213
75	アクセス等ハード面での環境整備	土木部	港湾課	078-362-3539
76	「具体」による地域のブランド力向上	阪神南県民センター	県民交流室県民・産業振興課	06-6481-4558
77	【再掲】尼崎運河の魅力発信	阪神南県民センター	尼崎港管理事務所尼崎21世紀プロジェクト推進室	06-6105-4431
78	【再掲】万博会場外駐車場（尼崎地区）を活用したにぎわいづくり	企画部	万博推進課	078-362-4217
		阪神南県民センター	県民交流室	06-6481-4618
79	「農・食」「伝統産業」「歴史・文化」が創る北播磨ツーリズムの推進	北播磨県民局	県民交流室県民・商工観光課	0795-42-9447
80	地域の宝「山田錦」の魅力向上	北播磨県民局	加東農林振興事務所農政振興課	0795-42-9422
81	中播磨地域におけるDC・万博推進（地域づくり活動応援事業）	中播磨県民センター	県民交流室県民課	079-281-9197
82	【再掲】万博に向けた中はりまの産業PR	中播磨県民センター	県民交流室産業観光課	078-281-9406
83	【再掲】岡山県・香川県との周遊クルーズ実証実験	中播磨県民センター	姫路港管理事務所	079-235-0176
84	「水」と「緑」と「古」に出会う西播磨ツーリズムの推進	西播磨県民局	県民交流室地域づくり課	0791-58-2132
85	【再掲】但馬の多彩な観光資源の再構築	但馬県民局	地域政策室地域づくり課	0796-26-3685
86	淡路人形浄瑠璃の魅力発信	淡路県民局	交流渦潮室県民・商工労政課	0799-26-2046
87	高速舞子バスストップリニューアル	淡路県民局	洲本土木事務所企画調整担当	0799-26-3221
88	大阪・関西万博、兵庫デスティネーションキャンペーン連携推進	淡路県民局	交流渦潮室交流渦潮課	0799-26-2015
89	【再掲】AWAJI島博（仮称）の実現に向けた取組の推進	淡路県民局	交流渦潮室交流渦潮課	0799-26-2015
91	推進体制の構築	企画部	万博推進課	078-362-9114

* 上記に記載のない内容に関するお問い合わせは、企画部万博推進課（078-362-9114）までご連絡ください。